

令和5年度 横浜システム工学院専門学校

工業専門課程2年次

シラバス

れいわ ねんど
令和 5 年度シラバス

担当教員 たんとうきょういん	実務経験 じつむけいけん
吉川 洋平	○

対象学科 たいしょうがつか	■IG □AI □RI □GB □IL								
科目名 かものめい	Webシステム開発基礎a かいぱつ きそ								
年次 ねんじ	2年 ねん	開講期 かいこうき	第1期 だい き	区分 くぶん	必修 ひつぽう	選択 せんたく	必選 ひつせん	授業時数 じゅぎょうじすう	36時間 じかん
授業 とうたつもくひょう 到達目標	<p>【最終期授業の到達目標】 Webシステム開発のうちクライアントサイド（フロントエンド）の言語（HTML/CSS/JavaScript）について理解し、UIを構築できるようになる。</p> <p>【当期授業の到達目標】 HTMLとCSSによる静的なWebページを作成できるようになる。</p>								
授業概要 じゅぎょうがいよう	HTMLとCSSを使って静的なWebページを作成するための環境構築から始め、実際のWebページ作成の実習を行う。								
授業の うんえいほうほう 運営方法	HTMLとCSSについて解説を加えながらWebページ作成の例題に取り組み。 HTMLのタグの機能やCSSによるページデザインの変化について、実習を通じて確認しながら進める。								
担当教員 からの メッセージ	昨今は、Webシステムが我々の身近なものとなっている。Webシステムでは、HTML/CSS/JavaScriptなどのクライアントサイドの技術が必須である。ここでは、その基礎となるHTMLとCSSを取り上げ、静的なWebページを作成できる技術を身につけてほしい。								
理解度 テスト、課題 レポートなど (レポート等)	毎週理解度テストを実施する。 定期試験は課題制作とする。 必要に応じて授業で取り組んだ例題の提出を求める。								
定期試験	【受験資格】出席率70%以上の学生 【試験方法】仕様を提示しそれに基づいた課題を制作する								
成績評価の ほうほう 方法・基準	平常点10%、理解度テスト40%、定期試験50%の計100%で評価し、合計60%以上を合格とする。								
オフィス アワー	月曜から金曜。担当授業のない時間。事前に口頭・メールで予約すること。								
教材	クラスルームに配布するプログラムファイル								
参考書	HTML/CSSについては、書籍・Webともに多数の参考書がある。各自調べやすいものを用意したい。								

科目名	Webシステム開発基礎a	担当教員	吉川
授業計画			
回数	内容	ALの形態	授業の狙い
1週目	Webサイトの仕組み、Webページの技術、HTMLファイルの基本	事前学習型	HTML/CSSによる静的なWebページ制作の基礎を身につける。
2週目	見出し、段落、リスト		
3週目	リンク、画像、ヘッダ、フッタ、Class属性、コメント		
4週目	太字、改行、id属性、テーブル		
5週目	CSSの基本、CSSの記述法、セレクトタ、CSSファイル		
6週目	背景色、文字色、フォント、ボックスモデル		
7週目	行間調整、ブロックとインライン、背景画像		
8週目	定期試験		
9週目	定期試験の振り返り		
<p>事前学習型授業：教科書／参考書等により講義部分を授業外に事前学習させた上で、授業内でその事前学習にもとづく演習をおこなわせる方法</p>			

れいわ ねんど
令和 5 年度シラバス

担当教員	実務経験
吉川 洋平	○

対象学科	■IG □AI □RI □GB □IL						
科目名	Webシステム開発基礎b						
年次	2年	開講期	第2期	区分	■必修□選択□必選	授業時数	36時間
授業到達目標	<p>【最終期授業の到達目標】</p> <p>Webシステム開発のうちクライアントサイド（フロントエンド）の言語（HTML/CSS/JavaScript）について理解し、UIを構築できるようになる。</p> <p>【当期授業の到達目標】</p> <p>HTMLとCSSによる静的なWebページを作成できるようになる。</p>						
授業概要	HTMLとCSSを使って静的なWebページを作成するための環境構築から始め、実際のWebページ作成の実習を行う。						
授業の運営方法	HTMLとCSSについて解説を加えながらWebページ作成の例題に取り組む。 HTMLのタグの機能やCSSによるページデザインの変化について、実習を通じて確認しながら進める。						
担当教員からのメッセージ	昨今は、Webシステムが我々の身近なものとなっている。Webシステムでは、HTML/CSS/JavaScriptなどのクライアントサイドの技術が必須である。ここでは、その基礎となるHTMLとCSSを取り上げ、静的なWebページを作成できる技術を身につけてほしい。						
理解度テスト、課題（レポート等）	毎週理解度テストを実施する。 定期試験は課題制作とする。 必要に応じて授業で取り組んだ例題の提出を求める。						
定期試験	【受験資格】出席率70%以上の学生 【試験方法】仕様を提示しそれに基づいた課題を制作する						
成績評価の方法・基準	平常点10%、理解度テスト40%、定期試験50%の計100%で評価し、合計60%以上を合格とする。						
オフィスアワー	月曜から金曜。担当授業のない時間。事前に口頭・メールで予約すること。						
教材	クラスルームに配布するプログラムファイル						
参考書	HTML/CSSについては、書籍・Webともに多数の参考書がある。各自調べやすいものを用意願いたい。						

科目名	Webシステム開発基礎b	担当教員	吉川
授業計画			
回数	内容	ALの形態	授業の狙い
1週目	フロート、フレックスボックス	事前学習型	HTML/CSSによる静的なWebページ制作の基礎を身につける。
2週目	フォーム（ドロップダウンリストボックス、ラジオボタン、チェックボックス、テキストボックス）		
3週目	フォーム（テキストエリア、ボタン、送信ボタン、ラベル）		
4週目	フォームを使った課題制作		
5週目	フォームデータのサーバ側での取り扱いとHTMLでの注意点		
6週目	レスポンシブデザイン、メディアクエリ		
7週目	レスポンシブデザインを使った課題制作		
8週目	定期試験		
9週目	定期試験の振り返り		
<p>事前学習型授業：教科書／参考書等により講義部分を授業外に事前学習させた上で、授業内でその事前学習にもとづく演習をおこなわせる方法</p>			

れいわ ねんど
令和 5 年度シラバス

担当教員 たんとうきょういん	実務経験 じつむけいけん
吉川 洋平	○

対象学科 たいしょうがつか	■IG □AI □RI □GB □IL						
科目名 かものめい	クライアントサイドアプリ開発a かいぱつ						
年次 ねんじ	2年 ねん	開講期 かいこうき	第3期 だいき	区分 くぶん	■必修□選択□必選 ひつぽうせんたくひつせん	授業時数 じゅぎょうじすう	36時間 じかん
授業 とうたつむくひょう 到達目標	<p>【最終期授業の到達目標】</p> <p>Webシステム開発のうちクライアントサイド（フロントエンド）の言語（HTML/CSS/JavaScript）について理解し、UIを構築できるようになる。</p> <p>【当期授業の到達目標】</p> <p>JavaScriptの基本的な書き方を理解し、簡単なスクリプトが書けるようになる。</p>						
授業概要 じゅぎょうがいよう	JavaScriptを使って動的なWebページを作成するための環境構築から始め、実際のWebページ作成の実習を行う。						
授業の うんえいほうほう 運営方法	JavaScriptについて解説を加えながらWebページ作成の例題に取り組む。 JavaScriptによるクライアントサイドのスクリプティングについて、実習を通じて確認しながら進める。						
担当教員 からの メッセージ	昨今は、Webシステムが我々の身近なものとなっている。Webシステムでは、HTML/CSS/JavaScriptなどのクライアントサイドの技術が必須である。ここではJavaScriptを取り上げ、動的なWebページを作成できる技術を身につけてほしい。						
理解度 テスト、課題 レポートなど (レポート等)	毎週理解度テストを実施する。 定期試験は課題制作とする。 必要に応じて授業で取り組んだ例題の提出を求める。						
定期試験	【受験資格】出席率70%以上の学生 【試験方法】仕様を提示しそれに基づいた課題を制作する						
成績評価の ほうほう 方法・基準	平常点10%、理解度テスト40%、定期試験50%の計100%で評価し、合計60%以上を合格とする。						
オフィス アワー	月曜から金曜。担当授業のない時間。事前に口頭・メールで予約すること。						
教材	クラスルームに配布するプログラムファイル						
参考書	現代の JavaScript チュートリアル (https://ja.javascript.info/)						

科目名	クライアントサイドアプリ開発a	担当教員	吉川
授業計画			
回数	内容	ALの形態	授業の狙い
1週目	JavaScriptとは、JavaScriptの基本、strict mode	事前学習型	JavaScriptによる動的なWebページ制作の基礎を身につける。
2週目	変数、データ型、インタラクション、型変換		
3週目	演算子、比較、条件分岐 (if、?)		
4週目	論理演算子、NULL合体演算子		
5週目	繰り返し (while、for) 、break、continue		
6週目	Switch、関数		
7週目	関数式、アロー関数		
8週目	定期試験		
9週目	定期試験の振り返り		
事前学習型授業：教科書／参考書等により講義部分を授業外に事前学習させた上で、授業内でその事前学習にもとづく演習をおこなわせる方法			

れいわ ねんど
令和 5 年度シラバス

担当教員 たんとうきょういん	実務経験 じつむけいけん
吉川 洋平	○

対象学科 たいしょうがつか	■IG □AI □RI □GB □IL						
科目名 かもちめい	クライアントサイドアプリ開発a かいほつ						
年次 ねんじ	2年 ねん	開講期 かいこうき	第4期 だい き	区分 くぶん	必修選択必修 ひつしゅう せんたく ひつせん	授業時数 じゅぎょうじすう	36時間 じかん
授業 とうたつもくひょう 到達目標	<p>【最終期授業の到達目標】 Webシステム開発のうちクライアントサイド（フロントエンド）の言語（HTML/CSS/JavaScript）について理解し、UIを構築できるようになる。</p> <p>【当期授業の到達目標】 JavaScriptの書き方を理解しWebページをコントロールするスクリプトが書けるようになる。</p>						
授業概要 じゅぎょうがいよう	JavaScriptを使って動的なWebページを作成するための環境構築から始め、実際のWebページ作成の実習を行う。						
授業の うんえいほうほう 運営方法	JavaScriptについて解説を加えながらWebページ作成の例題に取り組む。 JavaScriptによるクライアントサイドのスクリプティングについて、実習を通じて確認しながら進める。						
担当教員 からの メッセージ	昨今は、Webシステムが我々の身近なものとなっている。Webシステムでは、HTML/CSS/JavaScriptなどのクライアントサイドの技術が必須である。ここではJavaScriptを取り上げ、動的なWebページを作成できる技術を身につけてほしい。						
理解度 テスト、課題 レポートなど (レポート等)	毎週理解度テストを実施する。 定期試験は課題制作とする。 必要に応じて授業で取り組んだ例題の提出を求める。						
定期試験	【受験資格】出席率70%以上の学生 【試験方法】仕様を提示しそれに基づいた課題を制作する						
成績評価の ほうほう 方法・基準	平常点10%、理解度テスト40%、定期試験50%の計100%で評価し、合計60%以上を合格とする。						
オフィス アワー	月曜から金曜。担当授業のない時間。事前に口頭・メールで予約すること。						
教材	クラスルームに配布するプログラムファイル						
参考書	現代の JavaScript チュートリアル (https://ja.javascript.info/)						

科目名	クライアントサイドアプリ開発 ^{かいはつ} a	担当教員 ^{たんとうきょういん}	吉川
授業計画 ^{じゅぎょう けいかく}			
回数 ^{かいすう}	内容 ^{ないよう}	ALの形態 ^{けいたい}	授業の狙い ^{じゅぎょうのねらい}
1週目	オブジェクト (オブジェクト、ガベージコレクション、this、new)	事前学習型 ^{じぜんがくしゅうがた}	JavaScriptによる動的なWebページ制作技法を身につける。
2週目	データ型 (数値、文字列、配列、日付と時刻、JSON)		
3週目	関数 (再帰、スコープ、var、グローバルオブジェクト)		
4週目	関数 (関数オブジェクト、new Function、スケジューリング、デコレータ、関数バインディング)		
5週目	プロトタイプ (プロトタイプ、F.prototype、メソッド、プロパティ)		
6週目	クラス (クラス、継承 ^{けいしょう} 、プロパティ、メソッド) エラーハンドリング (try catch、カスタムエラー)		
7週目	DOM (getElement*、属性 ^{ぞくせい} とプロパティ、ドキュメントの変更 ^{へんこう} 、スタイルとクラス)		
8週目	定期試験 ^{ていきしけん}		
9週目	定期試験の振り返り ^{ていきしけんのふりかえり}		
<p>事前学習型授業：教科書／参考書等により講義部分を授業外に事前学習させた上で、授業内でその事前学習にもとづく演習をおこなわせる方法</p>			

れいわ ねんど
令和 5 年度シラバス

				たんとうきょういん 担当教員	じつむけいけん 実務経験		
				花島 恒登	○		
たいしょうがつか 対象学科	■IG □AI □RI □GB □IL						
かまくめい 科目名	ネットワークサーバ構築 ^{こうちく} a						
ねんじ 年次	ねん 2年	かいこうき 開講期	だい1き 第1期	くぶん 区分	ひつしゅう せんたく ひつせん ■必修□選択□必選	じゅぎょうじすう 授業時数	じかん 36時間
じゅぎょう 授業 とうたつむくひょう 到達目標	<p>【最終期授業の到達目標】</p> <p>ネットワークに関する知識を身につける。さらに、自らでネットワーク・DNSサーバを構築できるようにする。</p> <p>【当期授業の到達目標】</p> <p>ネットワークサーバ構築のためにLinuxを利用する。Linuxのインストールをはじめ、利用方法や特徴を学び、Linuxの基本操作ができるようになる。</p>						
じゅぎょうがいよう 授業概要	システム開発経験を有する教員が例も挙げながら説明する。その後、実際に自分たちで実習を実施する。実習を通して技術を習得する。						
じゅぎょう 授業の うんえいほうほう 運営方法	講義と実習及び質疑応答。						
たんとうきょういん 担当教員 からの メッセージ	積極的に授業に参加すること。 周りの学生と教えあい、互いに切磋琢磨すること。 疑問があれば、自ら積極的に解決方法を模索すること。						
りかいど 理解度テスト、 かだいとう 課題等	授業中に課題を提出。後日 コメントやアドバイスをつけ返却する。						
ていきしけん 定期試験	【受験資格】出席率70%以上の学生						
せいせきひょうか 成績評価の ほうほう きじゆん 方法・基準	本校の成績評価基準に基づき、到達目標達成度を次の方法で評価する。 ・定期試験 50% ・理解度テスト40% ・平常点10%						
オフィス アワー	授業後教室。またはメールにて空き時間の確認後、教室にて対応。						
きょうざい 教材	なし						
さんこうしょ 参考書	Linux標準教科書 LPI-Japan事務局 発行 無料 『これで合格！優しく教えるLPICレベル1基礎講座』赤星リナ 著 マイナビ出版 価格2400円						

科目名	ネットワークサーバ構築a	担当教員	花島
授業計画			
回数	授業内容	ALの形態	授業の狙い
1 週目	Linuxの概要(Linuxとは) 基本ソフトウェアと応用ソフトウェア/Unix/Linuxの特徴	事前学習型	Linuxの基礎知識を身につける。 Linuxのインストール、基本的な操作方法、各種設定の方法を学ぶ。
2 週目	仮想化ソフトとLinuxのインストール	事前学習型	
3 週目	Linuxの基本コマンド① (ファイル操作/ディレクトリ操作)	事前学習型	
4 週目	正規表現とパイプ (標準入出力/リダイレクト/パイプ/grep)	事前学習型	
5 週目	Linuxの基本コマンド③ (タイムスタンプ変更/ファイルの一部取得/ソート/ファイル比較)	事前学習型	
6 週目	Viエディタの利用 (viの基本操作/編集機能の活用)	事前学習型	
7 週目	管理者の仕事 (グループとユーザ)	事前学習型	
8 週目	総復習 定期試験		Linuxの基礎知識の定着を確認する。
9 週目	期末テスト内容の解説	調査学習	
<p>事前学習型：事前に資料を配布。配布された資料を読んで授業に臨む。資料の内容について質疑応答を実施したのち、実習をおこない定着を図る。</p> <p>調査学習：期末テストで自ら不明な部分をインターネットや授業資料から調べ理解を深める。</p>			

れいわ ねんど
令和 5 年度シラバス

		たんとくきょういん 担当教員		じつむけいけん 実務経験	
		花島 恒登		○	
たいしょうがつか 対象学科	■IG □AI □RI □GB □IL				
かもくめい 科目名	ネットワークサーバ構築 ^{こうちく} b				
ねんじ 年次	ねん 2年	かいこうき 開講期	だい2き 第2期	くぶん 区分	ひつしゅう せんたく ひつせん ■必修□選択□必選
	授業時数		72 時間		
じゅぎょう 授業 どうたつめくひょう 到達目標	【最終期授業の到達目標】 ネットワークに関する知識を身につける。さらに、自らでネットワーク・DNSサーバを構築できるようになる。 【当期授業の到達目標】 ネットワークサーバ構築のためにLinuxを利用する。Linuxのインストールをはじめ、利用方法や特徴を学ぶ。Viの使い方や管理者としての操作を理解・実行できるようになる。				
じゅぎょうがいよう 授業概要	システム開発経験を有する教員が例も挙げながら説明する。その後、実際に自分たちで実習を実施する。実習を通して技術を習得する。				
じゅぎょう 授業の うんえいほうほう 運営方法	こうぎ じっしゅうおよびしつぎおどう 講義と実習及び質疑応答。				
たんとくきょういん 担当教員 からの メッセージ	せっきよくてき じゅぎょう きんか 積極的に授業に参加すること。 まわり がくせい おしえあい たがいにせつさたくま 周りの学生と教えあい、互いに切磋琢磨すること。 ぎもん みずからせっきよくてき かいけつほうほう もさく 疑問があれば、自ら積極的に解決方法を模索すること。				
りかいど 理解度テスト、 かだいとう 課題等	じゅぎょうちゅう かだい ていしゆつ ごじつ 授業中に課題を提出。後日 コメントやアドバイスを付け返却する。				
ていきしけん 定期試験	【受験資格】出席率70%以上の学生				
せいせきひょうか 成績評価の ほうほう きじゆん 方法・基準	ほんこう せいせきひょうかきじゆん もとづき どうたつめくひょうたつせいど つぎ ほうほう ひょうか 本校の成績評価基準に基づき、到達目標達成度を次の方法で評価する。 ・定期試験 50% ・理解度テスト40% ・平常点10%				
オフィス アワー	じゅぎょうごきょうしつ 授業後教室。またはメールにて空き時間の確認後、教室にて対応。				
きょうざい 教材	なし				
さんこうしょ 参考書	Linux標準教科書 LPI-Japan事務局 発行 無料 『これで合格！優しく教えるLPICレベル1基礎講座』赤星リナ 著 マイナビ出版 価格2400円				

科目名	ネットワークサーバ構築b	担当教員	花島
授業計画			
回数	授業内容	ALの形態	授業の狙い
1週目	ユーザ権限とアクセス権	事前学習型	Linuxを更に使いこなすための知識や技術を習得する
2週目	シェルスクリプト① (シェルスクリプトとは/プログラミング)	事前学習型	
3週目	シェルスクリプト② (シェルスクリプトの作成① 基本/分岐/繰り返し)	事前学習型	
4週目	シェルスクリプト③ (シェルスクリプトの作成② サブルーチン/起動スクリプトなど)	事前学習型	
5週目	ネットワーク設定と管理	事前学習型	
6週目	ファイル管理① (ファイルシステムと起動の仕組み/パーティション)	事前学習型	
7週目	ファイル管理② (マウント/リンク) インストールとパッケージ管理	事前学習型	
8週目	総復習 定期試験		知識の定着を確認する
9週目	期末テスト内容の解説	調査学習	
<p>事前学習型：事前に資料を配布。配布された資料を読んで授業に臨む。資料の内容について質疑応答を実施したのち、実習をおこない定着を図る。</p> <p>調査学習：期末テストで自ら不明な部分をインターネットや授業資料から調べ理解を深める。</p>			

れいわ ねんど
令和 5 年度シラバス

				たんとくきょういん 担当教員	じつむけいけん 実務経験			
				花島 恒登	○			
たいしょうがつか 対象学科	■IG □AI □RI □GB □IL							
かちめい 科目名	ネットワーク・サーバ構築 ^{こうちく} c							
ねんじ 年次	ねん 2年	かいこうき 開講期	だい き 第3期	くぶん 区分	ひつしゅう せんたくしかくひつせん ■必修□選択□必選	じゅぎょうじすう 授業時数	じかん 36 時間	
じゅぎょう 授業 どうたつむくひょう 到達目標	<p>【最終期授業の到達目標】</p> <p>ネットワークに関する知識を身につける。さらに、自らでネットワーク・DNSサーバを構築できるようにする。</p> <p>【当期授業の到達目標】</p> <p>ネットワーク・サーバ構築のためにLinuxを利用する。各種サーバ（Web、SMTP、File等）を構築できる技術を身につける。</p>							
じゅぎょうがいよう 授業概要	システム開発経験を有する教員が例も挙げながら説明する。その後、実際に自分たちでサーバ構築を経験して技術を習得する。							
じゅぎょう 授業の うんえいほうほう 運営方法	講義と実習及び質疑応答。							
たんとくきょういん 担当教員 からの メッセージ	積極的に授業に参加すること。 周りの学生と教えあい、互いに切磋琢磨すること。 疑問があれば、自ら積極的に解決方法を模索すること。							
りかいど 理解度テスト、 かだいどう 課題等	授業中に課題を提出。後日 コメントやアドバイスを付け返却する。							
ていきしけん 定期試験	【受験資格】出席率70%以上の学生							
せいせきひょうか 成績評価の ほうほう きじゆん 方法・基準	本校の成績評価基準に基づき、到達目標達成度を次の方法で評価する。 <ul style="list-style-type: none"> 定期試験 50% 理解度テスト40% 平常点 10% 							
オフィス アワー	授業後教室。またはメールにて空き時間の確認後、教室にて対応。							
きょう ざい 教材	なし							
さんこうしょ 参考書	Linuxサーバー構築標準教科書 LPI-Japan事務局 無料 Linux教科書 LinuCレベル2 Version 10.0対応 翔泳社 中島 能和（著）定価4400円							

科目名	ネットワーク・サーバ構築c	担当教員	花島
授業計画			
回数	授業内容	ALの形態	授業の狙い
1週目	ガイダンス Linuxのインストール/設定/用語の説明		サーバ構築の方法を学ぶ
2週目	DNSサーバの構築① (DNSキャッシュサーバの構築)	事前学習型	
3週目	DNSサーバの構築② (DNSコンテンツサーバの構築)	事前学習型	
4週目	DNSサーバ構築③ (実習 DNSサーバを1人で構築する)	事前学習型	
5週目	Webサーバの構築① (Webサーバの仕組み/用語)	事前学習型	
6週目	Webサーバの構築② (Webサーバの設定)	事前学習型	
7週目	Webサーバの構築③ (実習 Webサーバを1人で構築する)	事前学習型	
8週目	総復習 定期試験		サーバ構築知識の定着を確認する。
9週目	期末テスト内容の解説	調査学習	
<p>事前学習型：事前に資料を配布。配布された資料を読んで授業に臨む。資料の内容について質疑応答を実施したのち、実習をおこない定着を図る。</p> <p>調査学習：期末テストで自ら不明な部分をインターネットや授業資料から調べ理解を深める。</p>			

れいわ ねんど
令和 5 年度シラバス

				たんとうきょういん 担当教員	じつむけいけん 実務経験			
				花島 恒登	○			
たいしょうがつか 対象学科	■IG □AI □RI □GB □IL							
かちめい 科目名	ネットワーク・サーバ構築d							
ねんじ 年次	ねん 2年	かいこうき 開講期	だい き 第4期	くぶん 区分	ひつしゅう せんたく ひつせん ■必修□選択□必選	じゅぎょうじすう 授業時数	じかん 36 時間	
じゅぎょう 授業 とうたつむくひょう 到達目標	<p>【最終期授業の到達目標】</p> <p>ネットワークに関する知識を身につける。さらに、自らでネットワーク・DNSサーバを構築できるようにする。</p> <p>【当期授業の到達目標】</p> <p>ネットワーク・サーバ構築のためにLinuxを利用する。各種サーバ（Web、SMTP、File等）を構築できる技術を身につける。</p>							
じゅぎょうがいよう 授業概要	システム開発経験を有する教員が例も挙げながら説明する。その後、実際に自分たちでサーバ構築を経験して技術を習得する。							
じゅぎょう 授業の うんえいほうほう 運営方法	講義と実習及び質疑応答。							
たんとうきょういん 担当教員 からの メッセージ	積極的に授業に参加すること。 周りの学生と教えあい、互いに切磋琢磨すること。 疑問があれば、自ら積極的に解決方法を模索すること。							
りかいど 理解度テスト、 かだいとう 課題等	授業中に課題を提出。後日 コメントやアドバイスを付け返却する。							
ていきしけん 定期試験	【受験資格】出席率70%以上の学生							
せいせきひょうか 成績評価の ほうほう きじゆん 方法・基準	<p>本校の成績評価基準に基づき、到達目標達成度を次の方法で評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期試験 50% 理解度テスト 40% 平常点 10% 							
オフィス アワー	授業後教室。またはメールにて空き時間の確認後、教室にて対応。							
きょう ざい 教材	なし							
さんこうしょ 参考書	Linuxサーバー構築標準教科書 LPI-Japan事務局 無料 Linux教科書 LinuCレベル2 Version 10.0対応 翔泳社 中島 能和（著）定価4400円							

科目名	ネットワーク・サーバ構築d	担当教員	花島
授業計画			
回数	授業内容	ALの形態	授業の狙い
1週目	ガイダンス Linuxのインストール/設定/用語の説明		サーバ構築の方法を学ぶ
2週目	Mailサーバの構築① (Mailの仕組み/用語/設定)	事前学習型	
3週目	Mailサーバの構築② (実習 Mailサーバを1人で構築する)	事前学習型	
4週目	ネットワークとセキュリティの管理	事前学習型	
5週目	Databaseサーバの構築① (データベースとは/用語/SQLについて学ぶ)	事前学習型	
6週目	Databaseサーバの構築② (設定/SQLを利用したデータベースの利用/アプリとの連携)	事前学習型	
7週目	まとめ	事前学習型	
8週目	総復習 定期試験		サーバ構築知識の定着を確認する。
9週目	期末テスト内容の解説	調査学習	
<p>事前学習型：事前に資料を配布。配布された資料を読んで授業に臨む。資料の内容について質疑応答を実施したのち、実習をおこない定着を図る。</p> <p>調査学習：期末テストで自ら不明な部分をインターネットや授業資料から調べ理解を深める。</p>			

れいわ ねんど
令和 5 年度シラバス

				担当教員	実務経験			
				吉川 洋平	○			
対象学科	■IG □AI □RI □GB □IL							
科目名	Java プログラミング a							
年次	ねん 2年	かいこうき 開講期	だい 1 き 第 1 期	くぶん 区分	ひつしゅうしかくせんたくしかくひつせん ■必修□選択□必選	じゅぎょうじすう 授業時数	54 時間	
授業 到達目標	<p>【最終期授業の到達目標】</p> <p>プログラミング言語Javaを利用したWebアプリケーションの知識を身につける。さらに、自らでWebアプリケーションを開発できるようになる。</p> <p>【当期授業の到達目標】</p> <p>プログラミング言語Javaの基本的な文法やルールを習得する。アルゴリズムの検討、プログラミング、デバッグをこなし、簡単なプログラムを1人で完成させる。</p>							
授業概要	システム開発経験を有する教員が例も挙げながら説明する。その後、実際に自分たちで実習を実施する。実習を通して技術を習得する。							
授業の 運営方法	講義と実習及び質疑応答。							
担当教員 からの メッセージ	積極的に授業に参加すること。 周りの学生と教えあい、互いに切磋琢磨すること。 疑問があれば、自ら積極的に解決方法を模索すること。							
理解度テスト、 課題等	授業中に課題を提出。後日 コメントやアドバイスを付け返却する。							
定期試験	【受験資格】出席率70%以上の学生							
成績評価の 方法・基準	本校の成績評価基準に基づき、到達目標達成度を次の方法で評価する。 <ul style="list-style-type: none"> 定期試験 50% 理解度テスト 40% 平常点10% 							
オフィス アワー	授業後教室。またはメールにて空き時間の確認後、教室にて対応。							
教材	なし							
参考書	なし							

科目名	Java プログラミング a	担当教員	吉川
授業計画			
回数	授業内容	ALの形態	授業の狙い
1 週目	ガイダンス 知識や用語の確認 (Java とは)	事前学習型	プログラミングを始めるための事前準備
2 週目	基本① (演算と変数/条件分岐/クラスの利用)	事前学習型	Javaの制御構文のルールやメソッドの利用方法を学ぶ
3 週目	基本② (繰り返し処理/配列)	事前学習型	
4 週目	基本③ (メソッドの利用)	事前学習型	
5 週目	基本④ (オブジェクト指向/属性)	事前学習型	
6 週目	基本⑤ (コンストラクタ/インスタンス)	事前学習型	
7 週目	基本⑥ (インスタンスメソッド/クラスメソッド)	事前学習型	
8 週目	総復習 定期試験		Javaの基礎知識の定着を確認する。
9週目	期末テスト内容の解説	調査学習	
<p>事前学習型：事前に資料を配布。配布された資料を読んで授業に臨む。資料の内容について質疑応答を実施したのち、実習をおこない定着を図る。</p> <p>調査学習：期末テストで自ら不明な部分をインターネットや授業資料から調べ理解を深める。</p>			

れいわ ねんど
令和 5 年度シラバス

				担当教員		実務経験	
				吉川 洋平		○	
対象学科	■IG □AI □RI □GB □IL						
科目名	Java プログラミング b						
年次	2年	開講期	第2学期	区分	必修□選択□必選	授業時数	54時間
授業到達目標	<p>【最終期授業の到達目標】</p> <p>プログラミング言語Javaを利用したWebアプリケーションの知識を身につける。さらに、自らでWebアプリケーションを開発できるようになる。</p> <p>【当期授業の到達目標】</p> <p>プログラミング言語Javaの基本的な文法やルールを習得する。オブジェクト指向の特徴などを理解した上で、アルゴリズムの検討、プログラミング、デバッグをこなし、簡単なプログラムを1人で完成させる。</p>						
授業概要	システム開発経験を有する教員が例も挙げながら説明する。その後、実際に自分たちで実習を実施する。実習を通して技術を習得する。						
授業の運営方法	講義と実習及び質疑応答。						
担当教員からのメッセージ	積極的に授業に参加すること。 周りの学生と教えあい、互いに切磋琢磨すること。 疑問があれば、自ら積極的に解決方法を模索すること。						
理解度テスト、課題等	授業中に課題を提出。後日 コメントやアドバイスを付け返却する。						
定期試験	【受験資格】出席率70%以上の学生						
成績評価の方法・基準	本校の成績評価基準に基づき、到達目標達成度を次の方法で評価する。 <ul style="list-style-type: none"> 定期試験 50% 理解度テスト40% 平常点10% 						
オフィスアワー	授業後教室。またはメールにて空き時間の確認後、教室にて対応。						
教材	なし						
参考書	なし						

科目名	Java プログラミング b	担当教員	吉川
授業計画			
回数	授業内容	AL の形態	授業の狙い
1 週目	継承① (継承とは/継承の利用方法)	事前学習型	継承の概念と 利用方法を学ぶ
2 週目	継承② (オーバーライド/コンストラクタ)	事前学習型	
3 週目	ポリモーフィズム/修飾子 (ポリモーフィズムとは/利用方法 /public protected private finalなど)	事前学習型	オブジェクト指向の 特徴と呼ばれる概念を 学び、利用する
4 週目	カプセル化 (カプセル化とは/利用方法)	事前学習型	
5 週目	抽象クラス (抽象クラスとは/利用方法)	事前学習型	抽象クラスと インタフェースの概念 と使い方を学ぶ
6 週目	インタフェース (インタフェースとは/利用方法)	事前学習型	
7 週目	まとめ (実習 プログラム作成)	事前学習型	2 期の内容を 再確認する
8 週目	総復習 定期試験		
9 週目	期末テスト内容の解説	調査学習	
<p>事前学習型：事前に資料を配布。配布された資料を読んで授業に臨む。資料の内容について質疑応答を実施したのち、実習をおこない定着を図る。</p> <p>調査学習：期末テストで自ら不明な部分をインターネットや授業資料から調べ理解を深める。</p>			

れいわ ねんど
令和 5 年度シラバス

				担当教員		実務経験	
				吉川 洋平		○	
対象学科	■IG □AI □RI □GB □IL						
科目名	Java プログラミング c						
年次	2年	開講期	第3学期	区分	必修□選択□必選	授業時数	54時間
授業到達目標	<p>【最終期授業の到達目標】</p> <p>プログラミング言語Javaを利用したWebアプリケーションの知識を身につける。さらに、自らでWebアプリケーションを開発できるようになる。</p> <p>【当期授業の到達目標】</p> <p>プログラミング言語Javaの基本的な文法やルールを習得する。例外処理やコレクションフレームワークを学び、より完成度の高いプログラムを作成できるようになる。</p>						
授業概要	システム開発経験を有する教員が例も挙げながら説明する。その後、実際に自分たちで実習を実施する。実習を通して技術を習得する。						
授業の運営方法	講義と実習及び質疑応答。						
担当教員からのメッセージ	積極的に授業に参加すること。 周りの学生と教えあい、互いに切磋琢磨すること。 疑問があれば、自ら積極的に解決方法を模索すること。						
理解度テスト、課題等	授業中に課題を提出。後日 コメントやアドバイスを付け返却する。						
定期試験	【受験資格】出席率70%以上の学生						
成績評価の方法・基準	<p>本校の成績評価基準に基づき、到達目標達成度を次の方法で評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期試験 50% 理解度テスト40% 平常点10% 						
オフィスアワー	授業後教室。またはメールにて空き時間の確認後、教室にて対応。						
教材	なし						
参考書	なし						

科目名	Java プログラミング c	担当教員	吉川
授業計画			
回数	授業内容	ALの形態	授業の狙い
1 週目	例外処理 (例外処理とは/様々な例外処理 throw/throws 等)	事前学習型	例外についての知識と 利用方法を習得する
2 週目	スレッド/ガーベジコレクション (スレッドとは/ガーベジコレクションとは/利用)	事前学習型	Javaの特徴であるガー ベジコレクションを学 ぶ
3 週目	ポリモーフィズム/修飾子 (ポリモーフィズムとは/利用方法 /public protected private finalなど)	事前学習型	オブジェクト指向の特 徴といわれるポリモー フィズムを学ぶ
4 週目	コレクションフレームワーク (コレクションとは/利用)	事前学習型	コレクションについて
5 週目	コレクションフレームワーク (コレクションとは/利用)	事前学習型	学び、利用できるよう になる
6 週目	ラムダ式 (ラムダ式とは/利用)	事前学習型	ラムダ式について学ぶ
7 週目	まとめ (実習 プログラム作成)	事前学習型	3 期で学修した内容の 再確認
8 週目	総復習 定期試験		
9 週目	期末テスト内容の解説	調査学習	
<p>事前学習型：事前に資料を配布。配布された資料を読んで授業に臨む。資料の内容について質疑応答を実施したのち、実習をおこない定着を図る。</p> <p>調査学習：期末テストで自ら不明な部分をインターネットや授業資料から調べ理解を深める。</p>			

れいわ ねんど
令和 5 年度シラバス

				たんとうきょういん 担当教員	じつむけいけん 実務経験			
				吉川 洋平	○			
たいしょうがつか 対象学科	■IG □AI □RI □GB □IL							
かもくめい 科目名	サーバーサイドアプリ開発							
ねんじ 年次	ねん 2年	かいこうき 開講期	だい き 第4期	くぶん 区分	ひっしゅう せんたく ひつせん ■必修□選択□必選	じゅぎょうじすう 授業時数	じかん 54 時間	
じゅぎょう 授業 とうたつもくひょう 到達目標	<p>【最終期授業の到達目標】</p> <p>産学連携授業。Javaによるシステム開発を学ぶ。在庫管理システムをテーマにプロジェクトベースで学習する。クラス全体をグループに分け、グループごとに開発をすすめる。</p> <p>データベースを用いたWebシステムを制作することができる技術を身につける。</p> <p>【当期授業の到達目標】</p> <p>グループ毎にGitやWBSなど利用してプロジェクトを管理する。プロジェクトでのシステム開発を経験し、グループでの開発する経験を通して、コミュニケーション力や技術力を身につける。</p>							
じゅぎょうがいよう 授業概要	<p>企業に与えられた課題（Webシステム）をグループに分かれて開発する。進捗状況などの報告も随時行う。</p>							
じゅぎょう 授業の うんえいほうほう 運営方法	<p>講義と実習及び質疑応答。</p>							
たんとうきょういん 担当教員 から	<p>積極的に授業に参加すること。</p> <p>グループごとのコミュニケーションを密に、協力して開発を進めていくこと。</p>							
りかいど 理解度テスト、 かだいとう 課題等	<p>進捗状況の報告を毎週おこなう。</p>							
ていきしけん 定期試験	<p>【受験資格】出席率70%以上の学生</p>							
せいせきひょうか 成績評価の ほうほう きじゅん 方法・基準	<p>本校の成績評価基準に基づき、到達目標達成度を次の方法で評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期試験 50% 理解度テスト40% 平常点10% 							
オフィス アワー	<p>授業後教室。またはメールにて空き時間の確認後、教室にて対応。</p>							
きょう さい 教材	<p>オリジナル教材</p>							
さんこうしょ 参考書	<p>なし</p>							

科目名	サーバーサイドアプリ開発	担当教員	吉川
授業計画			
回数	授業内容	ALの形態	授業の狙い
1週目	ガイダンス グループ分け 開発環境の構築 スケジュール確認、設計書の確認	調査学習	システム開発のための準備をおこなう。 グループでプロジェクトを進める経験を通して、実際に社会で働くためのスキルを身につける。
2週目	開発ツールの使い方、設計書の読み解き	調査学習	
3週目	グループによる開発演習① (各担当部分の開発を進める)	調査学習	
4週目	グループによる開発演習② (各担当部分の開発を進める)	調査学習	
5週目	グループによる開発演習③ (各担当部分の開発を進める)	調査学習	
6週目	グループによる開発演習④ (各担当部分の開発を進める)	調査学習	
7週目	グループによる開発演習⑤ (各担当部分の開発を進める)	調査学習	
8週目	グループによる開発演習⑥ (各担当部分の開発を進める)	調査学習	
9週目	まとめ・総括	調査学習	
<p>事前学習型：事前に資料を配布。配布された資料を読んで授業に臨む。資料の内容について質疑応答を実施したのち、実習をおこない定着を図る。</p> <p>調査学習：期末テストで自ら不明な部分をインターネットや授業資料から調べ理解を深める。</p>			

れいわ ねんど
令和 5 年度シラバス

	担当教員 たんとうきょういん	実務経験 じつむけいけん
	花島 恒登	○
対象学科 たいしやうがつか	■IG □AI □RI □GB □IL	
科目名 かもくめい	ゲームソフト開発a かいぱつ	
年次 ねんじ	2年 ねん	開講期 かいこうき
	第1期 だいき	区分 くぶん
	■必修□選択□必選	授業時数 じゆぎやうじすう
		36時間 じかん
授業 じゆぎやう 到達目標 とうたつもくひやう	<p>【最終期授業の到達目標】 自分が企画した2Dまたは3Dのゲームを制作（プログラミング）できるようになる。</p> <p>【当期授業の到達目標】 実際にゲームを制作していくことでプログラミングについて学び、ゲーム制作の基本を理解する。また問題を自らの力で解決する能力を身につける。</p>	
授業概要 じゆぎやうがいやう	システム開発経験を有する教員からゲームプログラミングに対する知識を説明する。様々なツールなども利用しつつ実際にゲームを制作できる能力を身につける。	
授業の じゆぎやう 運営方法 うんえいほうほう	実習及び質疑応答 じっしゅうおよびしつぎおうどう	
担当教員 たんとうきょういん からの メッセージ	様々なアイデアを出し、それを実現するためにはどうしたらいいのか。常に色々考え続けて授業に参加すること。また、発生した問題を自分で解決する能力を身につけること(インターネットで検索する/他者へ相談するなど)。	
理解度テスト りかいど かだいなど ト、課題等	授業ごとに課題またはレポートを提出。後日アドバイスと共にフィードバック。	
定期試験 ていきしけん	【受験資格】出席率70%以上の学生 【試験方法】プログラム制作による試験	
成績評価の せいせきひやうか ほうほう 方法・基準	本校の成績評価基準に基づき到達目標達成度を次の方法で評価する。 ・定期試験 50% ・理解度テスト40% ・平常点10%	
オフィス アワー	授業後教室。またはメールにて空き時間の確認後、教室にて対応。	
教材 きやうざい	なし	
参考書 さんこうしょ	『ゲームを作りながら楽しく学べるPythonプログラミング』、田中 賢一郎、インプレスR&D、 本体2500円+税 『Pythonでつくる ゲーム開発 入門講座』、廣瀬 豪、ソーテック社、本体2680円+税	

科目名	ゲームソフト開発 a	担当教員	花島
授 業 計 画			
回数	授業内容	AL の形態 <small>けいたい</small>	授業の狙い <small>じゅぎょう ねら</small>
1 週目	ガイダンス 最近のゲーム業界について	対話・議論型	ゲーム業界についての知識を身につける
2 週目	ゲーム制作演習① (オブジェクトを動かす/シーンを制作)	事前学習型 対話・議論型	ゲーム制作を通してプログラミング技術を身につける
3 週目	ゲーム制作演習② (プログラミングによりゲームシステムを作成)	事前学習型 対話・議論型	
4 週目	ゲーム制作演習③ (プログラミングによりゲームシステムを作成)	事前学習型 対話・議論型	
5 週目	ゲーム制作演習③ (プログラミングによりゲームシステムを作成)	事前学習型 対話・議論型	
6 週目	自分のアイデアを考えよう (各自アイデアを検討)	対話・議論型 調査学習型	
7 週目	自分のアイデアを作品に盛り込もう (各自のアイデアを実装)	対話・議論型 調査学習型	
8 週目	自分のアイデアを作品に盛り込もう② (各自のアイデアを実装) プレゼンテーション準備	調査学習型	
9 週目	発表準備/プレゼンテーション/実演 (未完成の場合は進捗状況を発表)	プレゼンテーション	他者のアイデアなどを聞き、今後の参考とする
<p>対話議論型：講師からの発問による対話、学生間の議論を取り入れた講義</p> <p>事前学習型：あらかじめ講師が掲示した資料を読み事前に学習し、実践を中心とした講義。</p> <p>調査学習型：問題解決のため、インターネットや関連書籍を自らが調査し、学んでいく講義。</p>			

れいわ ねんど
令和 5 年度シラバス

	担当教員 たんとうきょういん	実務経験 じつむけいけん
	花島 恒登	○
対象学科 たいしやうがつか	■IG □AI □RI □GB □IL	
科目名 かもくめい	ゲームソフト開発b かいぱつ	
年次 ねんじ	2年	開講期 かいこうき
	第2期	区分 くぶん
	必修 ひつしゅう	選択 sentaku
	必修 ひつせん	選択 ひつせん
	授業時数 じゆぎやうじすう	36 時間 じかん
授業 授業 じゆぎやう	【最終期授業の到達目標】 自分が企画した2Dまたは3Dのゲームを制作（プログラミング）できるようになる。 【当期授業の到達目標】 実際にゲームを制作していくことでプログラミングについて学び、ゲーム制作の基本を理解する。また問題を自らの力で解決する能力を身につける。	
授業概要 じゆぎやうがいよう	システム開発経験を有する教員からゲームプログラミングに対する知識を説明する。様々なツールなども利用しつつ実際にゲームを制作できる能力を身につける。	
授業の 運営方法 じゆぎやう	実習及び質疑応答 じっしゅうおよびしつぎおうとう	
担当教員 からの メッセージ たんとうきょういん	様々なアイデアを考察/検討し、それを実現するためにはどうしたらいいのか。常に色々考え続けて授業に参加すること。また、発生した問題を自分で解決する能力を身につけること（インターネットで検索する/他者へ相談するなど）。	
理解度テスト、 課題等 りかいど	授業ごとに課題またはレポートを提出。後日アドバイスと共にフィードバック。 じゆぎやう	
定期試験 ていきしけん	【受験資格】出席率70%以上の学生 【試験方法】プログラム制作による試験 じゆけんしやく しゅつせきりつ いじやう がくせい	
成績評価の 方法・基準 せいせきひやうか	本校の成績評価基準に基づき到達目標達成度を次の方法で評価する。 ほんこう せいせきひやうかきじゆん もとづきとうたつめくひやうたつせいど つぎ ほうほう ひやうか ・定期試験 50% ていきしけん ・理解度テスト40% りかいど ・平常点10% へいじやうてん	
オフィス アワー じゆぎやうごきやうしつ	授業後教室。またはメールにて空き時間の確認後、教室にて対応。 あきじかん かくにんご きやうしつ たいおう	
教材 きやうざい	なし	
参考書 さんこうしよ	『ゲームを作りながら楽しく学べるPythonプログラミング』、田中 賢一郎、インプレスR&D、 ほんたい 2500円+税 『Pythonでつくる ゲーム開発 入門講座』、廣瀬 豪、ソーテック社、本体2680円+税	

科目名 かもくめい	ゲームソフト開発 ^{かいほつ} b	担当教員 たんとくきょういん	花島
授 業 計 画			
回数	授業内容	AL の形態 けいたい	授業の狙い じゅぎょう ねら
1 週目	ゲーム制作演習① (画面UIの作成)	対話・議論型	ゲーム制作を通してプログラミング技術を身につける
2 週目	ゲーム制作演習② (キャラクターの作成)	事前学習型 対話・議論型	
3 週目	ゲーム制作演習③ (ゲームシステムの作成)	事前学習型 対話・議論型	
4 週目	ゲーム制作演習④ (ゲームシステムを作成)	事前学習型 対話・議論型	
5 週目	ゲーム制作演習⑤ (ゲームを完成)	事前学習型 対話・議論型	
6 週目	自分のアイデアを追加① (各自アイデアを検討)	対話・議論型 調査学習型	自分のアイデアを実現する能力を身につける
7 週目	自分のアイデアを追加② (各自のアイデアを実装)	対話・議論型 調査学習型	
8 週目	自分のアイデアを追加③ (各自のアイデアを実装) プレゼンテーション準備	調査学習型	
9 週目	発表準備/プレゼンテーション/実演 (未完成の場合は進捗状況を発表)	プレゼンテーション	他者のアイデアなどを聞き、今後の参考とする
<p>対話議論型：講師からの発問による対話、学生間の議論を取り入れた講義</p> <p>事前学習型：あらかじめ講師が掲示した資料を読み事前に学習し、実践を中心とした講義。</p> <p>調査学習型：問題解決のため、インターネットや関連書籍を自らが調査し、学んでいく講義。</p>			

れいわ ねんど
令和 5 年度シラバス

				担当教員 たんとうきょういん	実務経験 じつむけいけん
				花島 恒登	○
対象学科 たいしやうがつか	■IG □AI □RI □GB □IL				
科目名 かもくめい	ゲームソフト開発c かいぱつ				
年次 ねんじ	2年 ねん	開講期 かいこうき	第3期 だい き	区分 くぶん	■必修□選択□必選 じゆぎやうじすう
					授業時数 じゆぎやうじすう
					36 時間 じかん
授業 授業 じゆぎやう とうたつむくひやう 到達目標	<p>【最終期授業の到達目標】 自分が企画した2Dまたは3Dのゲームを制作（プログラミング）できるようになる。</p> <p>【当期授業の到達目標】 グループに分かれてオリジナルのゲームを制作する。チームによる企画と設計をして実装を開始する。いくつかの機能に関しては実装を完了する。</p>				
授業概要 じゆぎやうがいやう	システム開発経験を有する教員からゲームプログラミングに対する知識を説明する。様々なツールなども利用しつつ実際にゲームを制作できる能力を身につける。				
授業の 運営方法 じゆぎやう うんえいほうほう	実習及び質疑応答 じっしゅうおよびしつぎおうとう				
担当教員 からの メッセージ たんとうきょういん	様々なアイデアを出し、それを実現するためにはどうしたらいいのか。常に色々考え続けて授業に参加すること。また、発生した問題を自分で解決する能力を身につけること(インターネットで検索する/他者へ相談するなど)。				
理解度テスト、課題等 りかいど	授業ごとに課題またはレポートを提出。後日アドバイスと共にフィードバック。 じゆぎやう				
定期試験 ていきしけん	【受験資格】出席率70%以上の学生 【試験方法】プログラム制作による試験 じゆけんしやく しゅつせきりつ いじやう がくせい				
成績評価の方法・基準 せいせきひやうか	本校の成績評価基準に基づき到達目標達成度を次の方法で評価する。 ほんこう せいせきひやうかきじゆん もとづきとうたつむくひやうたつせいど つぎ ほうほう ひやうか				
	<ul style="list-style-type: none"> 定期試験 50% 理解度テスト40% 平常点10% 				
オフィス アワー おふいす	授業後教室。またはメールにて空き時間の確認後、教室にて対応。 じゆぎやうごきやうしつ あきじかん かくにんご きやうしつ たいおう				
教材 きやうざい	なし				
参考書 さんこうしょ	なし				

<small>かもくめい</small> 科目名	<small>かいほつ</small> ゲームソフト開発c	<small>たんとくきょういん</small> 担当教員	花島
授 業 計 画			
回数	授業内容	<small>けいたい</small> AL の形態	<small>じゅぎょう ねら</small> 授業の狙い
1 週目	ガイドンス (グループ分け等)	対話・議論型	今まで学んだことを利用してオリジナルのゲーム制作に取り組む。グループ活動を通してコミュニケーションスキルを身につける。
2 週目	オリジナルゲーム制作① (企画する)	事前学習型 対話・議論型	
3 週目	オリジナルゲーム制作② (企画する②)	事前学習型 対話・議論型	
4 週目	オリジナルゲーム制作③ (グループでゲームの設計する)	事前学習型 対話・議論型	
5 週目	オリジナルゲーム制作④ (グループでゲームの設計する)	事前学習型 対話・議論型	
6 週目	オリジナルゲーム制作⑤ (グループでゲームの設計する)	対話・議論型 調査学習型	
7 週目	オリジナルゲーム制作⑥ (オリジナルゲームを実装する)	対話・議論型 調査学習型	
8 週目	オリジナルゲーム制作⑥ (オリジナルゲームを実装する) プレゼンテーション準備	調査学習型	
9 週目	発表準備/プレゼンテーション (オリジナル作品のアイデア/方向性/進捗等 発表)	プレゼンテーション	他者のアイデアなどを聞き、今後の参考とする
対話議論型：講師からの発問による対話、学生間の議論を取り入れた講義 事前学習型：あらかじめ講師が掲示した資料を読み事前に学習し、実践を中心とした講義。 調査学習型：問題解決のため、インターネットや関連書籍を自らが調査し、学んでいく講義。			

れいわ ねんど
令和 5 年度シラバス

		担当教員 たんとうきょういん		実務経験 じつむけいけん	
		花島 恒登		○	
対象学科 たいしょうがつか	■IG □AI □RI □GB □IL				
科目名 かもくめい	ゲームソフト開発d かいぱつ				
年次 ねんじ	2年	開講期 かいこうき	第4期 だい き	区分 くぶん	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択 <input type="checkbox"/> 必選 ひつしゅう せんたく ひつせん 授業時数 じゅぎょうじすう
					36 時間 じかん
授業 授業 じゅぎょう	【最終期授業の到達目標】 自分が企画した2Dまたは3Dのゲームを制作（プログラミング）できるようになる。 【当期授業の到達目標】 グループに分かれてオリジナルのゲームを制作する。グループごとに作品の制作を完了する。				
到達目標 とうたつもくひょう					
授業概要 じゅぎょうがいよう	卒業制作をグループごとに作成する。				
授業の 運営方法 じゅぎょう うんえいほうほう	実習及び質疑応答 じっしゅうおよびしつぎおうとう				
担当教員 からの メッセージ たんとうきょういん	様々なアイデアを出し、それを実現するためにはどうしたらいいのか。常に色々考え続けて 授業に参加すること。また、発生した問題を自分で解決する能力を身につけること(インター ネットで検索する/他者へ相談するなど)。 けんさくする/たしちや そうだんするなど。				
理解度テ スト、課題等 りかいど	授業ごとに課題またはレポートを提出。後日アドバイスと共にフィードバック。 じゅぎょうごとにかだい ていしゆつ とも				
定期試験 ていきしけん	【受験資格】 出席率70%以上の学生 【試験方法】 プログラム制作による試験 じゅけんしかく しゅつせきりつ いじょう がくせい しけんほうほう せいさく しけん				
成績評価の 方法・基準 せいせきひょうか	本校の成績評価基準に基づき到達目標達成度を次の方法で評価する。 ほんこう せいせきひょうかきじゆん もとづき とうたつもくひょうたつせいど つぎ ほうほう ひょうか ・定期試験 50% ・理解度テスト40% ・平常点10% ていきしけん りかいど へいじょうてん				
オフィス アワー おふいす	授業後教室。またはメールにて空き時間の確認後、教室にて対応。 じゅぎょうごきょうしつ あきじかん かくにんご きょうしつ たいおう				
教材 きょうざい	なし				
参考書 さんこうしょ	なし				

科目名	ゲームソフト開発 ^{かいぱつ} d	担当教員 ^{たんとうきょういん}	花島
授 業 計 画			
回数	授業内容	ALの形態 ^{けいたい}	授業の狙い ^{じゅぎょう ねら}
1週目	オリジナルゲーム制作① (オリジナルゲーム開発)	調査学習型	グループごとに卒業制作を開発/デバッグ/機能追加を実施する。
2週目	オリジナルゲーム制作② (オリジナルゲーム開発)	調査学習型	
3週目	オリジナルゲーム制作③ (オリジナルゲーム開発)	調査学習型	
4週目	オリジナルゲーム制作④ (オリジナルゲーム開発/デバッグ)	調査学習型	
5週目	オリジナルゲーム制作⑤ (オリジナルゲーム開発/デバッグ)	調査学習型	
6週目	オリジナルゲーム制作⑥ (オリジナルゲームを実装する/機能追加など)	調査学習型	
7週目	オリジナルゲーム制作⑥ (オリジナルゲームを実装する/機能追加など) プレゼンテーション準備	調査学習型	
8週目	オリジナルゲーム制作⑥ (オリジナルゲームを実装する/機能追加など) プレゼンテーション準備	調査学習型	
9週目	発表準備/プレゼンテーション (オリジナル作品の紹介 発表)	プレゼンテーション	他者のアイデアなどを聞き評価する
<p>対話議論型：講師からの発問による対話、学生間の議論を取り入れた講義</p> <p>事前学習型：あらかじめ講師が掲示した資料を読み事前に学習し、実践を中心とした講義。</p> <p>調査学習型：問題解決のため、インターネットや関連書籍を自らが調査し、学んでいく講義。</p>			

れいわ ねんど
令和 5 年度シラバス

担当教員	実務経験
三輪 基敦	○

対象学科	□IG □AI ■RI □GB □IL						
科目名	ドローンアプリ開発 a						
年次	2年	開講期	第1期	区分	□必修□選択□必選	授業時数	36時間
授業到達目標	<p>【最終期授業の到達目標】 ドローンアプリ開発プラットフォームを利用して最終課題を完成することができる。</p> <p>【当期授業の到達目標】 ドローンに関する全般的な基礎知識を身につける。</p>						
授業概要	ドローンを扱う上で必要となる基礎知識について身につける。						
授業の運営方法	ドローンに必要な知識を授業で展開したのち、派生する事項について調査し、グループ内で情報共有する。						
担当教員からのメッセージ	ドローンを取り巻く様々なことに着目し、興味を持って取り組んでほしい。調査項目は、調べてまとめるだけでなく、周りの人からの質問にも応えられるように自分で「なぜ」「どうして」を考えながら調査してほしい。						
理解度テスト、課題(レポート等)	各週の授業開始前に学習した知識を確認するために理解度テストを実施する。テストは各理解度を総まとめにしたものを基本に、応用問題を交えて出題する。課題はグループ内でまとめた資料を提出することもある。						
定期試験	<p>【受験資格】出席率70%以上の学生</p> <p>【試験方法】ドローンの基本事項に関する試験。</p>						
成績評価の方法・基準	平常点10%、理解度テスト40%、定期試験50%の計100%で評価し、合計60%以上を合格とする。						
オフィスアワー	月曜から金曜。担当授業のない時間。事前に口頭・メールで予約すること。						

きょうざい 教材	クラスルームにアップするパワーポイント、PDFファイル、など。		
さんこうしょ 参考書	特になし		
科目名	ドローンアプリ開発 ^a	担当教員	三輪
授業計画			
かいすう 回数	ないよう 内容	けいたい ALの形態	じゅぎょう 授業の狙い
1週目	ドローンの基礎知識・機体の動き ・無人航空機の種類 ・動く仕組み など	ちょうさがくしゅう 調査学習 グループワーク	ドローンに関連する事項 の概要理解。
2週目	機体にかかる力・気象と風・機体の構造と姿勢 ・フェイルセーフ ・風速と風向 など	ちょうさがくしゅう 調査学習 グループワーク	
3週目	送信機・バッテリー・ブレードの回転 ・モードやバッテリーの種類 など	ちょうさがくしゅう 調査学習 グループワーク	
4週目	基礎力学・単位について・操縦者の責任 ・速度と加速度 ・国際単位系 など	ちょうさがくしゅう 調査学習 グループワーク	
5週目	マルチコプターの飛行・トラブル予測・プラン ・フライト前の準備 ・飛行記録 など	ちょうさがくしゅう 調査学習 グループワーク	
6週目	航空法 ・航空機の定義 ・飛行禁止空域 ・罰則 など	ちょうさがくしゅう 調査学習 グループワーク	
7週目	電波法・小型無人機等飛行禁止法 ・無人航空機と電波法 ・禁止事項 など	ちょうさがくしゅう 調査学習 グループワーク	
8週目	定期試験		
9週目	定期試験の振り返り		
<p>ちょうさがくしゅう がくせい あた 調査学習：学生が与えられたテーマに対して、授業中や授業外学習において自ら調べ物をさせる方法</p> <p>がくせい しょうにんずう わ あた かだい きやうどう と く グループワーク：学生を少人数のグループに分け、与えられた課題に協同で取り組ませる方法</p>			

れいわ ねんど
令和 5 年度シラバス

担当教員	実務経験
三輪 基敦	○

対象学科	□IG □AI ■RI □GB □IL						
科目名	ドローンアプリ開発 b						
年次	2年	開講期	第2期	区分	■必修 □選択 □必選	授業時数	36時間
授業到達目標	<p>【最終期授業の到達目標】</p> <p>ドローンアプリ開発プラットフォームを利用して最終課題を完成することができる。</p> <p>【当期授業の到達目標】</p> <p>各自のパソコン上で開発環境を構築し、簡単なシミュレーションをおこなうことができる。</p>						
授業概要	ドローンアプリ開発プラットフォーム使用し、シミュレーションができる環境を構築し、必要最低限のパラメータ設定をおこなう。						
授業の運営方法	ドローンアプリ開発プラットフォームを各自のPC上に構築し、授業中にコマンド入力しながら、動作確認をおこない、最終的に課題制作に取り組む。						
担当教員からのメッセージ	仮想環境を設定するので、うまくいかなかったときは手を止めるのではなく、ネット検索などを利用し、自己解決する力を身につけてほしい。						
理解度テスト、課題(レポート等)	2、3週に1度の頻度で知識を問う理解度テストを実施する。課題をまとめたものをスライド形式のファイルにて提出する。また提出課題について発表を通じて説明できるようにする。						
定期試験	<p>【受験資格】 出席率70%以上の学生</p> <p>【試験方法】 定期試験はなし。課題提出と発表に代える。</p>						
成績評価の方法・基準	平常点10%、理解度テスト40%、定期試験50%の計100%で評価し、合計60%以上を合格とする。						
オフィスアワー	月曜から金曜。担当授業のない時間。事前に口頭・メールで予約すること。						
教材	クラスルームにアップするパワーポイント、PDFファイル、など。						
参考書	特になし						

科目名	ドローンアプリ開発 ^{かいぱつ} b	担当教員 ^{たんとうきょういん}	三輪
授業計画			
回数 ^{かいすう}	内容 ^{ないよう}	ALの形態 ^{けいたい}	授業の狙い ^{じゅぎょうのねらい}
1週目	ドローンSDKについて調査 ^{ちようさ} ・開発可能な環境 ^{かいぱつかのうかんきよう}	調査学習 ^{ちようさがくしゅう} グループワーク	課題に対して自己だけでなく他人の意見も聞き入れながら解決していく力を身につける。 発表を通じてプレゼンテーション力を身につける。 発表から疑問に思うことを聞く力を身につける。
2週目	シミュレーション環境構築 ・仮想環境を作り、シミュレーション環境を構築する	調査学習 ^{ちようさがくしゅう} グループワーク	
3週目	動作確認 (1) ・サンプルプログラムを動かす	調査学習 ^{ちようさがくしゅう} グループワーク	
4週目	動作確認 (2) ・ドローンを設定してパラメータを変化させる	調査学習 ^{ちようさがくしゅう} グループワーク	
5週目	パラメータの調整 (1) ・GPS ・GPS-for-Yaw ・振動 ・風 など	調査学習 ^{ちようさがくしゅう} グループワーク	
6週目	パラメータの調整 (2) ・ジンバル ・距離計 ・センサ類 など	調査学習 ^{ちようさがくしゅう} グループワーク	
7週目	課題制作 ・指定されたパラメータを設定したプログラム作成	調査学習 ^{ちようさがくしゅう} グループワーク	
8週目	定期試験 ^{ていきしけん} (課題制作発表会 ^{かだいせいさくはっぴようかい})	プレゼンテーション	
9週目	定期試験 ^{ていきしけん} の振り返り ^{ふりかえり}		
<p>調査学習^{ちようさがくしゅう}：学生^{がくせい}が与えられたテーマ^{あたい}に対して、授業中^{じゅぎょうちゆう}や授業外^{じゅぎょうがい}学習^{がくしゅう}において自ら調べ物をさせる方法^{ほうほう}</p> <p>グループワーク^{がくせいしやうにんずう}：学生^{がくせい}を少人数^{せうにんずう}のグループに分け^{わけ}、与えられた課題^{かだい}に協同^{きやうどう}で取り組ませる方法^{ほうほう}</p> <p>プレゼンテーション^{がくせい}：学生^{がくせい}がパワーポイント等^{なぞもち}を用いて発表資料^{はっぴようしりよう}を作成^{さくせい}し、他の学生^{がくせい}の前^{まえ}で自ら発表^{はっぴよう}を行わせる方法^{ほうほう}</p>			

れいわ ねんど
令和 5 年度シラバス

担当教員	実務経験
三輪 基敦	○

対象学科	□IG □AI ■RI □GB □IL						
科目名	ドローンアプリ開発c						
年次	2年	開講期	第3期	区分	■必修□選択□必選	授業時数	36時間
授業 到達目標	<p>【最終期授業の到達目標】</p> <p>ドローンアプリ開発プラットフォームを利用して最終課題を完成することができる。</p> <p>【当期授業の到達目標】</p> <p>シミュレーション上で飛行範囲を指定した中でドローンが飛行制御することができる。</p>						
授業概要	ドローンアプリ開発プラットフォーム使用し、シミュレーションができる環境を構築し、飛行に必要なパラメータ設定をおこなう。						
授業の 運営方法	ドローンアプリ開発プラットフォームを各自のPC上に構築し、授業中にコマンド入力しながら、動作確認をおこない、最終的に課題制作に取り組む。						
担当教員 からの メッセージ	仮想環境を設定するので、うまくいかなかったときは手を止めるのではなく、ネット検索などを利用し、自己解決する力を身につけてほしい。						
理解度 テスト、課題 （レポート等）	2、3週に1度の頻度で知識を問う理解度テストを実施する。 課題をまとめたものをスライド形式のファイルにて提出する。また提出課題について発表を通じて説明できるようにする。						
定期試験	<p>【受験資格】 出席率70%以上の学生</p> <p>【試験方法】 定期試験はなし。課題提出と発表に代える。</p>						
成績評価の 方法・基準	平常点10%、理解度テスト40%、定期試験50%の計100%で評価し、合計60%以上を合格とする。						
オフィス アワー	月曜から金曜。担当授業のない時間。事前に口頭・メールで予約すること。						
教材	クラスルームにアップするパワーポイント、PDFファイル、など。						
参考書	特になし						

科目名	ドローンアプリ開発c	担当教員	三輪
授業計画			
回数	内容	ALの形態	授業の狙い
1週目	シミュレーション環境の確認 ・ドローンアプリ開発bの復習	調査学習 グループワーク	課題に対して自己だけでなく他人の意見も聞き入れながら解決していく力を身につける。 発表を通じてプレゼンテーション力を身につける。 発表から疑問に思うことを聞く力を身につける。
2週目	シミュレータのデータについて ・ログファイルへのアクセス ・グラフィカル など	調査学習 グループワーク	
3週目	シミュレーション環境での動作（1） ・離陸プログラム	調査学習 グループワーク	
4週目	シミュレーション環境での動作（2） ・センサのモニタリング	調査学習 グループワーク	
5週目	シミュレーション環境での動作（3） ・フライト計画によるシミュレーション飛行	調査学習 グループワーク	
6週目	シミュレーション環境での動作（4） ・GeoFenceによる飛行区域制限	調査学習 グループワーク	
7週目	課題制作 ・指定されたパラメータを設定したプログラム作成	調査学習 グループワーク	
8週目	定期試験（課題制作発表会）	プレゼンテーション	
9週目	定期試験の振り返り		
<p>調査学習：学生が与えられたテーマに対して、授業中や授業外学習において自ら調べ物をさせる方法</p> <p>グループワーク：学生を少人数のグループに分け、与えられた課題に協同で取り組ませる方法</p> <p>プレゼンテーション：学生がパワーポイント等を用いて発表資料を作成し、他の学生の前で自ら発表を行わせる方法</p>			

れいわ ねんど
令和 5 年度シラバス

担当教員 たんとうきょういん	実務経験 じつむけいけん
三輪 基敦	○

対象学科 たいしやうがつか	□IG □AI ■RI □GB □IL								
科目名 かもくめい	ドローンアプリ開発 d								
年次 ねんじ	2年 ねん	開講期 かいこうき	第4期 だい き	区分 くぶん	必修 ひつしゅう	選択 せんたく	必選 ひつせん	授業時数 じゆぎやうじすう	36時間 じかん
授業 授業 とうたつむくひやう 到達目標	<p>【最終期授業の到達目標】 ドローンアプリ開発プラットフォームを利用して最終課題を完成することができる。</p> <p>【当期授業の到達目標】 シミュレーションを利用してドローン飛行に関する課題を完成することができる。</p>								
授業概要 じゆぎやうがいやう	ドローンアプリ開発プラットフォーム使用し、実環境を想定し、飛行シミュレーションができるようになる。								
授業の 運営方法 じゆぎやう うんえいほうほう	考えられる実環境を設定し、ドローンアプリ開発プラットフォーム上で可能な限り対応できる状況を構築し課題を完成させる。								
担当教員 からの メッセージ たんとうきょういん からの メッセージ	授業だけでは補えない状況も存在します。ネット検索などを利用し、対応できるコマンドを探し、自己解決する力を身につけてほしい。								
理解度 テスト、課題 (レポート等) りかいど てすと かだい れぽーとなど	2、3週に1度の頻度で課題をまとめたものをスライド形式のファイルにて提出。また提出課題について発表を通じて説明できるようにする。								
定期試験 ていきしけん	【受験資格】出席率70%以上の学生 【試験方法】定期試験はなし。課題提出と発表に代える。								
成績評価の 方法・基準 せいせきひやうか ほうほう きじゆん	平常点10%、理解度テスト40%、定期試験50%の計100%で評価し、合計60%以上を合格とする。								
オフィス アワー げつやう きんやう	月曜から金曜。担当授業のない時間。事前に口頭・メールで予約すること。								
教材 きやう ざい	クラスルームにアップするパワーポイント、PDFファイル、など。								
参考書 さんこうしょ	特になし								

科目名	ドローンアプリ開発d	担当教員	三輪
授業計画			
回数	内容	ALの形態	授業の狙い
1週目	課題提示 ・課題の提示、理解、調査	調査学習 グループワーク	
2週目	課題への取り組み（1） ・課題をグループ内で話し合い、解決方針を決める（1）	調査学習 グループワーク	
3週目	課題への取り組み（2） ・解決方針にもとにグループで課題解決（1）	調査学習 グループワーク	課題に対して自己だけでなく他人の意見も聞き入れながら解決していく力を身につける。
4週目	中間発表会 ・課題の途中経過について発表、質疑応答（1）	調査学習 グループワーク	発表を通じてプレゼンテーション力を身につける。
5週目	課題への取り組み（3） ・課題をグループ内で話し合い、解決方針を決める（2）	調査学習 グループワーク	発表から疑問に思うことを聞く力を身につける。
6週目	課題への取り組み（4） ・解決方針にもとにグループで課題解決（2）	調査学習 グループワーク	
7週目	課題への取り組み（5） ・課題の途中経過について発表、質疑応答（2）	調査学習 グループワーク	
8週目	定期試験（課題制作発表会）	プレゼンテーション	
9週目	定期試験の振り返り		
<p>調査学習：学生が与えられたテーマに対して、授業中や授業外学習において自ら調べ物をさせる方法</p> <p>グループワーク：学生を少人数のグループに分け、与えられた課題に協同で取り組ませる方法</p> <p>プレゼンテーション：学生がパワーポイント等を用いて発表資料を作成し、他の学生の前で自ら発表を行わせる方法</p>			

れいわ ねんど
令和 5 年度シラバス

担当教員	実務経験
三輪 基敦	○

対象学科	□IG □AI ■RI □GB □IL						
科目名	IoTシステム開発 a						
年次	2年	開講期	第1期	区分	■必修 □選択 □必選	授業時数	72 時間
授業到達目標	<p>【最終期授業の到達目標】</p> <p>センサやWebを利用して最終課題を完成することができる。</p> <p>【当期授業の到達目標】</p> <p>IoTで必要となる最低限の知識を身につける。</p>						
授業概要	IoTを取り巻く環境を8つのテーマにわけて紹介し、テーマごとに調査やレポートを実施する。						
授業の運営方法	講義を実施したのち、関連する事項をインターネットで調査しまとめる。調査事項が多いときはグループ内（3、4名を予定）で分担し、調査後、グループメンバーに説明する。						
担当教員からのメッセージ	IoTを取り巻く様々なことに着目し、興味を持って取り組んでほしい。調査項目は、調べてまとめるだけでなく、周りの人からの質問にも応えられるように自分で「なぜ」「どうして」を考えながら調査してほしい。						
理解度テスト、課題（レポート等）	課題をまとめたものをスライド形式のファイルにて提出。また提出課題について発表を通じて説明できるようにする。						
定期試験	<p>【受験資格】 出席率70%以上の学生</p> <p>【試験方法】 定期試験はなし。課題提出と発表に代える。</p>						
成績評価の方法・基準	平常点10%、理解度テスト40%、定期試験50%の計100%で評価し、合計60%以上を合格とする。						
オフィスアワー	月曜から金曜。担当授業のない時間。事前に口頭・メールで予約すること。						
教材	クラスルームにアップするパワーポイント、PDFファイル、など。						
参考書	特になし						

科目名	IoTシステム開発 a	担当教員	三輪
授業計画			
回数	内容	ALの形態	授業の狙い
1週目	戦略とマネジメントについて ・戦略企画 ・プロジェクトマネジメント ・人材育成と企業間連携	調査学習 グループワーク	課題に対して自己だけでなく他人の意見も聞き入れながら解決していく力を身につける。 卒業制作にむけてのアイデアをまとめながら必要な知識を身につける。
2週目	産業システムについて ・エネルギー関連のIoT ・身近なIoT ・産業界のIoT ・IoT関連の標準規格	調査学習 グループワーク	
3週目	関連する法律について ・通信関連の法律 ・製造および航空法に関する法律 ・ライセンス	調査学習 グループワーク	
4週目	ネットワークについて ・データ通信プロトコル ・WANおよびLAN ・PAN	調査学習 グループワーク	
5週目	デバイスの種類について ・制御装置 ・マイクロコントローラ ・入出力 など	調査学習 グループワーク	
6週目	プラットフォームについて ・クラウド ・分散処理 ・データ処理	調査学習 グループワーク	
7週目	データ分析・セキュリティについて ・暗号化 ・攻撃対策 ・認証技術	調査学習 グループワーク	
8週目	定期試験 (調査発表会)	プレゼンテーション	
9週目	定期試験の振り返り		
<p>調査学習：学生が与えられたテーマに対して、授業中や授業外学習において自ら調べ物をさせる方法</p> <p>グループワーク：学生を少人数のグループに分け、与えられた課題に協同で取り組ませる方法</p> <p>プレゼンテーション：学生がパワーポイント等を用いて発表資料を作成し、他の学生の前で自ら発表を行わせる方法</p>			

れいわ ねんど
令和 5 年度シラバス

		担当教員		実務経験	
		三輪 基敦		○	
対 象 学 科		□IG □AI ■RI □GB □IL			
科 目 名		I o T システム開発b			
年 次	2 年	開 講 期	第 2 期	区 分	■必修 □選択 □必選 授 業 時 数
授 業 達 到 目 標	<p>【最終期授業の到達目標】 センサやWebを利用して最終課題を完成することができる。</p> <p>【当期授業の到達目標】 A r d u i n o を利用してセンサの入出力制御するプログラムを作成できる。</p>				
授 業 概 要	A r d u i n o を利用してI o T の基礎になるハードウェアの制御を学習する。				
授 業 の 運 営 方 法	講義を実施したのち、ハードウェアの制作をおこない、制御プログラムを作成する。関連する事項をインターネットで調査し簡単な応用に挑戦する。調査事項を他者とも共有できるように資料をまとめ、説明する。				
担 当 教 員 からの メッセージ	I o T を通じて電気回路の基礎を身につけ、回路図から実際の回路を制作できるようにしてほしい。アナログ・デジタルの変換の考え方も身につけてほしい。				
理 解 度 テ ス ト 、 課 題 (レポ ー ト 等)	課題をまとめたものをスライド形式のファイルにて提出。また提出課題について発表を通じて説明できるようにする。				
定 期 試 験	【受験資格】出席率70%以上の学生 【試験方法】定期試験はなし。課題提出と発表に代える。				
成 績 評 価 の 方 法 ・ 基 準	平常点10%、理解度テスト40%、定期試験50%の計100%で評価し、合計60%以上を合格とする。				
オ フ ィ ス ア ワ ー	月曜から金曜。担当授業のない時間。事前に口頭・メールで予約すること。				
教 材	クラスルームにアップするパワーポイント、PDFファイル、など。				
参 考 書	特になし				

科目名	IoTシステム開発b	担当教員	三輪
授業計画			
回数	内容	ALの形態	授業の狙い
1週目	開発環境の構築 ・Arduino開発環境	調査学習	Arduinoで小さなIoT開発を体験する。 発表を通じてプレゼンテーション力を身につける。 発表から疑問に思うことを聞く力を身につける。
2週目	簡単な電気回路 ・オームの法則 ・キルヒホッフの法則 など	調査学習	
3週目	出力制御 ・LED ・スピーカ など	調査学習	
4週目	入力データの取得 ・スイッチ ・温度センサ など	調査学習	
5週目	入力データに対応した出力制御 ・スイッチとLEDの組み合わせ など	調査学習	
6週目	課題制作（1） ・全体像の構想 ・回路の見取り図 ・プログラム	調査学習	
7週目	課題制作（2） ・課題のまとめ	調査学習	
8週目	定期試験（課題作品の発表会）	プレゼンテーション	
9週目	定期試験の振り返り		
<p>調査学習：学生が与えられたテーマに対して、授業中や授業外学習において自ら調べ物をさせる方法</p> <p>プレゼンテーション：学生がパワーポイント等を用いて発表資料を作成し、他の学生の前で自ら発表を行わせる方法</p>			

れいわ ねんど
令和 5 年度シラバス

	担当教員 三輪 基敦	実務経験 ○
対象学科	□IG □AI ■RI □GB □IL	
科目名	I o Tシステム開発c	
年次	2年	開講期 第3期
	区分	■必修□選択□必選
	授業時数	72 時間
授業到達目標	<p>【最終期授業の到達目標】 センサやWebを利用して最終課題を完成することができる。</p> <p>【当期授業の到達目標】 RaspberryPiを利用してセンサの入出力制御するプログラムを作成できる。</p>	
授業概要	RaspberryPiを利用してLinuxをベースとしたI o Tのハードウェアの制御を学習する。	
授業の運営方法	講義を実施したのち、ハードウェアの制作をおこない、制御プログラムを作成する。関連する事項をインターネットで調査し簡単な応用に挑戦する。調査事項を他者とも共有できるように資料をまとめ、説明する。	
担当教員からのメッセージ	Linuxのコマンドに慣れ、Linux環境でもI o T制御が可能であることを体感してほしい。授業では基本的な部分を中心に進めていくが、調査を通じて更なる可能性に挑戦してほしい。	
理解度テスト、課題(レポート等)	課題をまとめたものをスライド形式のファイルにて提出。また提出課題について発表を通じて説明できるようにする。	
定期試験	<p>【受験資格】 出席率70%以上の学生</p> <p>【試験方法】 定期試験はなし。課題提出と発表に代える。</p>	
成績評価の方法・基準	平常点10%、理解度テスト40%、定期試験50%の計100%で評価し、合計60%以上を合格とする。	
オフィスアワー	月曜から金曜。担当授業のない時間。事前に口頭・メールで予約すること。	
教材	クラスルームにアップするパワーポイント、PDFファイル、など。	
参考書	Linux標準教科書 (PDF版)	

科目名	IoTシステム開発c	担当教員	三輪
授業計画			
回数	内容	ALの形態	授業の狙い
1週目	Linuxコマンド（1） ・ファイル操作 ・ディレクトリ操作 など	事前学習型 授業	課題に対して自己だけでなく他人の意見も聞き入れながら解決していく力を身につける。
2週目	Linuxコマンド（2） ・ファイルの一部の取得 ・文字の置き換え など	事前学習型 授業	
3週目	Linuxコマンド（3） ・管理者権限 ・ファイルアクセス権 など	事前学習型 授業	
4週目	RaspberryPiを使ったGPIO操作の準備 ・環境構築	調査学習 グループワーク	
5週目	RaspberryPi上で出力制御 ・LED ・スピーカ など	調査学習 グループワーク	
6週目	RaspberryPi上で入力データの取得 ・スイッチ ・温度センサ など	調査学習 グループワーク	
7週目	RaspberryPi上で入力データに対応した出力制御 ・スイッチとLEDの組み合わせ など	調査学習 グループワーク	
8週目	定期試験（課題制作発表会）	プレゼンテーション	
9週目	定期試験の振り返り		
<p>事前学習型授業：教科書／参考書等により講義部分を授業外に学習させた上で、授業内でその事前学習にもとづく演習を行わせる方法</p> <p>調査学習：学生が与えられたテーマに対して、授業中や授業外学習において自ら調べ物をさせる方法</p> <p>グループワーク：学生を少人数のグループに分け、与えられた課題に協同で取り組ませる方法</p> <p>プレゼンテーション：学生がパワーポイント等を用いて発表資料を作成し、他の学生の前で自ら発表を行わせる方法</p>			

れいわ ねんど
令和 5 年度シラバス

				担当教員 三輪 基敦		実務経験 ○
対象学科	□IG □AI ■RI □GB □IL					
科目名	IoTシステム開発d					
年次	2年	開講期	第4期	区分	■必修□選択□必選	授業時数 72 時間
授業 到達目標	<p>【最終期授業の到達目標】 センサやWebを利用して最終課題を完成することができる。</p> <p>【当期授業の到達目標】 Webのフレームワークを利用して回路を制御することができる。</p>					
授業概要	Webのフレームワークを利用してON/OFF制御やデータの取得ができるようになる。					
授業の 運営方法	講義を実施したのち、ハードウェアの制作をおこない、Web上で動くUIのプログラムを作成する。関連する事項をインターネットで調査し簡単な応用に挑戦する。調査事項を他者とも共有できるように資料をまとめ、説明する。					
担当教員 からの メッセージ	簡単なWeb画面を作成できるようになってほしい。また、WebのUI環境でもIoT制御が可能であることを体感してほしい。授業では基本的な部分を中心に進めていくが、調査を通じて更なる可能性に挑戦してほしい。					
理解度 テスト、課題 レポートなど (レポート等)	課題をまとめたものをスライド形式のファイルにて提出。また提出課題について発表を通じて説明できるようにする。					
定期試験	【受験資格】出席率70%以上の学生 【試験方法】定期試験はなし。課題提出と発表に代える。					
成績評価の 方法・基準	平常点10%、理解度テスト40%、定期試験50%の計100%で評価し、合計60%以上を合格とする。					
オフィス アワー	月曜から金曜。担当授業のない時間。事前に口頭・メールで予約すること。					
教材	クラスルームにアップするパワーポイント、PDFファイル、など。					
参考書	特になし					

科目名	IoTシステム開発d	担当教員	三輪
授業計画			
回数	内容	ALの形態	授業の狙い
1週目	Web環境構築（1） ・Webアプリケーションのフレームワーク導入	調査学習 グループワーク	課題に対して自己だけでなく他人の意見も聞き入れながら解決していく力を身につける。 発表を通じてプレゼンテーション力を身につける。 発表から疑問に思うことを聞く力を身につける。
2週目	Web環境構築（2） ・簡単なWebサイト制作	調査学習 グループワーク	
3週目	センサ制御できるWebサイトプログラム作成（1） ・UIから出力制御	調査学習 グループワーク	
4週目	センサ制御できるWebサイトプログラム作成（2） ・入力からUI制御	調査学習 グループワーク	
5週目	課題制作（1） ・全体像の構想 ・回路の見取り図 ・プログラム	調査学習 グループワーク	
6週目	課題制作（2） ・Webサイトの作成 ・プログラム	調査学習 グループワーク	
7週目	課題制作（3） ・課題のまとめ	調査学習 グループワーク	
8週目	定期試験（課題作品の発表会）	プレゼンテーション	
9週目	定期試験の振り返り		
<p>調査学習：学生が与えられたテーマに対して、授業中や授業外学習において自ら調べ物をさせる方法</p> <p>グループワーク：学生を少人数のグループに分け、与えられた課題に協同で取り組ませる方法</p> <p>プレゼンテーション：学生がパワーポイント等を用いて発表資料を作成し、他の学生の前で自ら発表を行わせる方法</p>			

れいわ ねんど
令和 5 年度シラバス

				担当教員 たんとうきょういん	実務経験 じつむけいけん
				隅岡 隆之	○
対象学科 たいしやうがつか	□IG □AI ■RI □GB □IL				
科目名 かもくめい	会話ロボットアプリ開発 a かいわ				
年次 ねんじ	2 年	開講期 かいこうき	第 1 期	区分 くぶん	■必修□選択□必選 じゆぎょうじすう
授業 とうたつむくひやう	<p>【最終期授業の到達目標】 会話ロボットアプリ開発プラットフォームを利用して最終課題を完成することができる。</p> <p>【当期授業の到達目標】 Linux環境上に仮想環境が構築でき、簡単な会話プログラムを作成することができる。</p>				
授業概要 じゆぎやうがいやう	Linuxの基本コマンドを学習し、会話プログラムのサンプルを動作させ、アプリ開発の入り口を体感する。				
授業の 運営方法 じゆぎやう	授業でLinuxのコマンドの動作確認を演習にて実施する。 会話アプリの基本プログラムをもとに、必要なコマンドを追加し試行錯誤しながら会話アプリを完成させる。				
担当教員 からの メッセージ たんとうきょういん	コマンド入力で動かなかったときに作業を止めるのではなく、ネット検索などを利用し、自己解決する力を身につけてほしい。				
理解度 テスト、課題 (レポート等) りかいど	2、3週に1度の頻度で知識を確認するために理解度テストを実施する。 課題をまとめたものをスライド形式のファイルにて提出。また提出課題について発表を通じて説明できるようにする。				
定期試験 ていきしけん	【受験資格】出席率70%以上の学生 【試験方法】定期試験はなし。課題提出と発表に代える。				
成績評価の 方法・基準 せいせきひやうか	平常点10%、理解度テスト40%、定期試験50%の計100%で評価し、合計60%以上を合格とする。				
オフィス アワー げつやう	月曜から金曜。担当授業のない時間。事前に口頭・メールで予約すること。				
教材 きょうざい	クラスルームにアップするパワーポイント、PDFファイル、など。				
参考書 さんこうしょ	特になし				

科目名	会話ロボットアプリ開発 a	担当教員	隅岡
授業計画			
回数	内容	ALの形態	授業の狙い
1週目	RaspberryPiの設定 ・OSインストール ・外部コントロール設定 など	グループワーク	課題に対して自己だけでなく他人の意見も聞き入れながら解決していく力を身につける。 発表を通じてプレゼンテーション力を身につける。 発表から疑問に思うことを聞く力を身につける。
2週目	Linuxコマンド（1） ・ファイル操作 ・ディレクトリ操作 など	事前学習型 授業	
3週目	Linuxコマンド（2） ・管理者権限 ・ファイルアクセス権 など	事前学習型 授業	
4週目	RaspberryPiの環境構築 ・Pythonの設定 ・ライブラリのインポート など	調査学習 グループワーク	
5週目	会話プログラムのサンプル動作 ・サンプルを使って音声入出力の確認	調査学習 グループワーク	
6週目	会話プログラムの作成（1） ・簡単な会話プログラムを作成する	調査学習 グループワーク	
7週目	会話プログラムの作成（2）とまとめ ・プログラム作成 ・発表資料作成	調査学習 グループワーク	
8週目	定期試験（課題制作発表会）	プレゼンテーション	
9週目	定期試験の振り返り		
<p>事前学習型授業：教科書／参考書等により講義部分を授業外に学習させた上で、授業内でその事前学習にもとづく演習を行わせる方法</p> <p>調査学習：学生が与えられたテーマに対して、授業中や授業外学習において自ら調べ物をさせる方法</p> <p>グループワーク：学生を少人数のグループに分け、与えられた課題に協同で取り組ませる方法</p> <p>プレゼンテーション：学生がパワーポイント等を用いて発表資料を作成し、他の学生の前で自ら発表を行わせる方法</p>			

れいわ ねんど
令和 5 年度シラバス

担当教員 たんとうきょういん	実務経験 じつむけいけん
隅岡 隆之	○

対象学科 たいしょうがつか	□IG □AI ■RI □GB □IL						
科目名 かもくめい	会話ロボットアプリ開発 b かいわ かいほつ						
年次 ねんじ	2 年	開講期 かいこうき	第 2 期	区分 くぶん	■必修 □選択 □必選	授業時数 じゅぎょうじすう	54 時間
授業 到達目標 じゅぎょう とうたつもくひょう	<p>【最終期授業の到達目標】 会話ロボットアプリ開発プラットフォームを利用して最終課題を完成することができる。</p> <p>【当期授業の到達目標】 文字ベースで発話できるプログラムを作成することができる。</p>						
授業概要 じゅぎょうがいよう	会話ロボットアプリ開発プラットフォームを利用して、導入から実行までの実習をおこなう。						
授業の 運営方法 じゅぎょう うんえいほうほう	授業でサンプルプログラムを解説し、サンプルプログラムを各グループの環境にインストールしたのち、動作確認をおこなう。						
担当教員 からの メッセージ たんとうきょういん	コマンド入力で動かなかったときに作業を止めるのではなく、ネット検索などを利用し、自己解決する力を身につけてほしい。						
理解度 テスト、課題 レポートなど (レポート等) りかいど	2、3 週に 1 度の頻度で課題をまとめたものをスライド形式のファイルにて提出。また提出課題について発表を通じて説明できるようにする。						
定期試験 ていきしけん	<p>【受験資格】出席率 70% 以上の学生</p> <p>【試験方法】定期試験はなし。課題提出と発表に代える。</p>						
成績評価の 方法・基準 せいせきひょうか	平常点 10%、理解度テスト 40%、定期試験 50% の計 100% で評価し、合計 60% 以上を合格とする。						
オフィス アワー げつよう	月曜から金曜。担当授業のない時間。事前に口頭・メールで予約すること。						
教材 きょうざい	クラスルームにアップするパワーポイント、PDF ファイル、など。						
参考書 さんこうしょ	特になし						

科目名	会話ロボットアプリ開発 b	担当教員	隅岡
授業計画			
回数	内容	ALの形態	授業の狙い
1週目	会話プログラム作成 (1) ・ライブラリのインポート など	調査学習 グループワーク	課題に対して自己だけでなく他人の意見も聞き入れながら解決していく力を身につける。 発表を通じてプレゼンテーション力を身につける。 発表から疑問に思うことを聞く力を身につける。
2週目	会話プログラム作成 (2) ・ライブラリでテキスト文を再生 など	調査学習 グループワーク	
3週目	会話プログラム作成 (3) ・ライブラリでテキスト文を再生 など	調査学習 グループワーク	
4週目	テキスト変換プログラム作成 (1) ・会話文をテキストに変換するプログラム	調査学習 グループワーク	
5週目	テキスト変換プログラム作成 (2) ・会話文をテキストに変換するプログラム	調査学習 グループワーク	
6週目	テキスト変換プログラム作成 (3) ・会話文をテキストに変換するプログラム	調査学習 グループワーク	
7週目	課題作成 ・来期以降の会話アプリ内容についての検討とまとめ	調査学習 グループワーク	
8週目	定期試験 (課題制作発表会)	プレゼンテーション	
9週目	定期試験の振り返り		
<p>調査学習：学生が与えられたテーマに対して、授業中や授業外学習において自ら調べ物をさせる方法</p> <p>グループワーク：学生を少人数のグループに分け、与えられた課題に協同で取り組ませる方法</p> <p>プレゼンテーション：学生がパワーポイント等を用いて発表資料を作成し、他の学生の前で自ら発表を行わせる方法</p>			

れいわ ねんど
令和 5 年度シラバス

担当教員	実務経験
隅岡 隆之	○

たいしょうがつか 対象学科	□IG □AI ■RI □GB □IL			
かもくめい 科目名	かいわ 会話ロボットアプリ開発c			
ねんじ 年次	2 年	かいこう き 開講期	第 3 期	くぶん 区分
				■必修□選択□必選
				じゆぎょう じすう 授業時数
				54 時間
じゆぎょう 授業 とうたつもくひょう 到達目標	<p>【最終期授業の到達目標】 会話ロボットアプリ開発プラットフォームを利用して最終課題を完成することができる。</p> <p>【当期授業の到達目標】 会話における5つの要素について知り、プログラムを作成することができる。</p>			
じゆぎょうがいよう 授業概要	かいわ 会話ロボットアプリ開発プラットフォームを利用して、導入から実行までの実習をおこなう。			
じゆぎょう 授業の うんえいほうほう 運営方法	じゆぎょう 授業でサンプルプログラムを解説し、サンプルプログラムを各グループの環境にインストールしたのち、動作確認をおこなう。			
たんとうきょういん 担当教員 からの メッセージ	にゆうりよく うご コマンド入力で動かなかったときに作業を止めるのではなく、ネット検索などを利用し、自己解決する力を身につけてほしい。			
りかいど 理解度 てすと かだい テスト、課題 れぽーとなど (レポート等)	しゅう ど ひんど かだい 2、3週に1度の頻度で課題をまとめたものをスライド形式のファイルにて提出。また提出課題について発表を通じて説明できるようにする。			
ていきしけん 定期試験	<p>【受験資格】出席率70%以上の学生</p> <p>【試験方法】定期試験はなし。課題提出と発表に代える。</p>			
せいせきひょうか 成績評価の ほうほう きじゆん 方法・基準	へいじょうてん 平常点10%、りかいど 理解度テスト40%、ていきしけん 定期試験50%の計100%で評価し、ごうけい 合計60%以上を合格とする。			
オフィス アワー	げつよう 月曜からきんよう 金曜。たんとうじゆぎょう 担当授業のない時間。じかん 事前にこうとう 口頭・メールでよやく 予約すること。			
きょう ざい 教材	クラスルームにアップするパワーポイント、PDFファイル、など。			
さんこうしょ 参考書	とく 特になし			

科目名	会話ロボットアプリ開発c	担当教員	隅岡
授業計画			
回数	内容	ALの形態	授業の狙い
1週目	翻訳プログラム作成 (1) ・音声認識について	調査学習 グループワーク	課題に対して自己だけでなく他人の意見も聞き入れながら解決していく力を身につける。 発表を通じてプレゼンテーション力を身につける。 発表から疑問に思うことを聞く力を身につける。
2週目	翻訳プログラム作成 (2) ・文意解釈について	調査学習 グループワーク	
3週目	翻訳プログラム作成 (3) ・言語翻訳について	調査学習 グループワーク	
4週目	翻訳プログラム作成 (4) ・応答文生成について	調査学習 グループワーク	
5週目	翻訳プログラム作成 (5) ・音声合成について	調査学習 グループワーク	
6週目	課題作成 (1) ・来期以降のアプリ内容についての検討	調査学習 グループワーク	
7週目	課題作成 (2) ・来期以降のアプリ内容についての検討 まとめ	調査学習 グループワーク	
8週目	定期試験 (課題制作発表会)	プレゼンテーション	
9週目	定期試験の振り返り		
<p>調査学習：学生が与えられたテーマに対して、授業中や授業外学習において自ら調べ物をさせる方法 グループワーク：学生を少人数のグループに分け、与えられた課題に協同で取り組ませる方法 プレゼンテーション：学生がパワーポイント等を用いて発表資料を作成し、他の学生の前で自ら発表を行わせる方法</p>			

れいわ ねんど
令和 5 年度シラバス

				担当教員 たんとうきょういん	実務経験 じつむけいけん
				隅岡 隆之	○
対象学科 たいしょうがつか	□IG □AI ■RI □GB □IL				
科目名 かものめい	会話ロボットアプリ開発 d かいわ かいほつ				
年次 ねんじ	2 年	開講期 かいこうき	第 4 期	区分 くぶん	■必修□選択□必選 じゅぎょうじすう
					授業時数 じゅぎょうじすう
					54 時間
授業 とうたつもくひょう 到達目標	<p>【最終期授業の到達目標】 会話ロボットアプリ開発プラットフォームを利用して最終課題を完成することができる。</p> <p>【当期授業の到達目標】 最終課題に向けグループ内で協力し合い、会話ロボットアプリを開発する。</p>				
授業概要 じゅぎょうがいよう	会話ロボットアプリ開発プラットフォームを利用して、導入から実行までの実習をおこなう。				
授業の 運営方法 じゅぎょう うんえいほうほう	各グループで課題に取り組み、グループを巡回し、つまづいているところや疑問点を解決する。				
担当教員 からの メッセージ たんとうきょういん	グループ内で積極的に議論し、共有した情報を他グループにも説明ができるようになってほしい。担当が分かると個々の作業になりがちだが、連絡を密にとり、最終目標にズレがないようにしてほしい。				
理解度 テスト、課題 レポートなど (レポート等) りかいど	2、3 週に 1 度の頻度で進捗状況をまとめたものをスライド形式のファイルにて提出。また提出課題について発表を通じて説明できるようにする。				
定期試験 ていきしけん	【受験資格】 出席率 70% 以上の学生 【試験方法】 定期試験はなし。課題提出と発表に代える。				
成績評価の 方法・基準 せいせきひょうか	平常点 10%、理解度テスト 40%、定期試験 50% の計 100% で評価し、合計 60% 以上を合格とする。				
オフィス アワー げつよう	月曜から金曜。担当授業のない時間。事前に口頭・メールで予約すること。				
教材 きょうざい	クラスルームにアップするパワーポイント、PDF ファイル、など。				
参考書 さんこうしょ	特になし				

科目名	会話ロボットアプリ開発d	担当教員	隅岡
授業計画			
回数	内容	ALの形態	授業の狙い
1週目	課題への取り組み (1) ・分担作業や予定の設計	調査学習 グループワーク	課題に対して自己だけでなく他人の意見も聞き入れながら解決していく力を身につける。 発表を通じてプレゼンテーション力を身につける。 発表から疑問に思うことを聞く力を身につける。
2週目	課題への取り組み (2) ・各自の作業	調査学習 グループワーク	
3週目	課題への取り組み (3) ・各自の作業	調査学習 グループワーク	
4週目	進捗状況報告会 ・グループの情報を報告	プレゼンテーション	
5週目	課題への取り組み (4) ・各自の作業	調査学習 グループワーク	
6週目	課題への取り組み (5) ・各自の作業	調査学習 グループワーク	
7週目	課題への取り組み (6) ・各自の作業	調査学習 グループワーク	
8週目	定期試験 (課題制作発表会)	プレゼンテーション	
9週目	定期試験の振り返り		
<p>調査学習：学生が与えられたテーマに対して、授業中や授業外学習において自ら調べ物をさせる方法 グループワーク：学生を少人数のグループに分け、与えられた課題に協同で取り組ませる方法 プレゼンテーション：学生がパワーポイント等を用いて発表資料を作成し、他の学生の前で自ら発表を行わせる方法</p>			

れいわ ねんど
令和 5 年度シラバス

				担当教員 たんとくきょういん	実務経験 じつむけいけん
				佐藤 晋亮	○
				田中 正彦	○
対象学科 たいしやうがつか	■IG □AI ■RI □GB □IL				
科目名 かもくめい	AI アルゴリズム				
年次 ねんじ	2年	開講期 かいこうき	第 1 期 だい き	区分 くぶん	必修口選択口必選 ひつしゅう せんたく ひつせん ■必修□選択□必選
授業 じゆぎやう	【授業の到達目標】 scikit-learnを利用して機械学習の実装経験を積み、様々なAIアルゴリズムを知る。実装を通じて具体的な事例でそれらの知識を説明できるようになる。				
到達目標 とうたつもくひやう					
授業概要 じゆぎやうがいやう	各回の冒頭で前回の内容をまとめた動画を共有する。続いて当日に取り組む範囲と扱う関数、何ができるようになるかを提示する。その後関数の書式を確認しつつ実行手順と動作を確認し、実際にコードを書き実行して理解を進める。				
授業の うんえいほうほう	毎週Pythonによる機械学習プログラミングを学び、AIアルゴリズムの理解に役立てる。理解度テストを実施して当日学んだ内容を確認するほか、宿題としてポイントを紹介する動画を作成する。動画は次週の冒頭で共有する。				
運営方法 うんえいほうほう					
担当教員 たんとくきょういん	ひとくちに「機械学習」と言っても様々なテクニックがあり、必要なデータも処理の手順も異なります。それらを実装して動作させる経験を通じて共通点と相違点を知り、AIに関する学習を深めていきましょう。				
からの かみせーじ					
メッセージ めっせーじ					
理解度 りかいど	授業毎に、理解度テストを実施する。				
テスト てすと					
定期試験 ていきしけん	【受験資格】出席率70%以上の学生 【試験方法】実技試験とGoogleFormsを併用				
成績評価 せいせきひやうか	本校の成績評価基準に基づき、到達目標達成度を次の方法で評価する。				
の の	<ul style="list-style-type: none"> 定期試験：50% 理解度テスト：40% 平常点：10% 				
方法・基準 ほうほう きじゆん					
オフィス おふいす	放課後に対面で対応。その他の時間帯は個別に相談のこと。				
アワー あわー					
教材 きやうざい	オリジナル教材・資料				
参考書 さんこうしょ	[第3版] Python機械学習プログラミング Sebastian Raschka 著 (インプレス)				

かもくめい 科目名	AI アルゴリズム	たんとうきょういん 担当教員	佐藤／田中
じゅぎょうけいかく 授 業 計 画			
かいすう 回数	じゅぎょうないよう 授 業 内 容	けいたい AL の 形 態	じゅぎょうねらい 授 業 の 狙 い
1しゅうめ 1 週 目	きかいがくしゅう ぶんるいもんだい きかいがくしゅう きほんようご まなび 機械学習と分類問題(1)。機械学習の基本用語を学び、パ ーセプトロンの仕組みを知る。	どうがさくせい 動画作成	きかいがくしゅう きほんてきな 機械学習の基本的な かんがえかた みに 考え方を身につける。 ぐたいてきなれいだい とりくみ 具体的な例題に取り組み、 じっそう 実装によって仕組みを りかい 理解する。
2しゅうめ 2 週 目	きかいがくしゅう ぶんるいもんだい きかいがくしゅう きほんようご まなび 機械学習と分類問題(2)。機械学習の基本用語を学び、パ ーセプトロンを実装する。	どうがさくせい 動画作成	
3しゅうめ 3 週 目	ロジスティックかいき (1)。とうけいてきかいき 統計的回帰モデルの仕組みを しる 知る。	どうがさくせい 動画作成	
4しゅうめ 4 週 目	ロジスティックかいき (2)。Scikit-learnをつかってぶんるい を使って分類アルゴ リズムを実装する。	どうがさくせい 動画作成	
5しゅうめ 5 週 目	しゅせいぶんぶんせき しゅせいぶんぶんせき しくみ しり じげんあつしゅく 主成分分析(1)。主成分分析の仕組みを知り「次元圧縮」に ついでまなぶ ついて学ぶ。	どうがさくせい 動画作成	
6しゅうめ 6 週 目	しゅせいぶんぶんせき きょうし じげんあつしゅく じっそう 主成分分析(2)。「教師なし次元圧縮」を実装する。	どうがさくせい 動画作成	
7しゅうめ 7 週 目	AIアルゴリズムについてまとめる。	どうがさくせい 動画作成	
8しゅうめ 8 週 目	ふくしゅう ていきしけん 復習と定期試験		
9しゅうめ 9 週 目	ていきしけん かいせつ 定期試験の解説とまとめ		
アクティブラーニング(AL)の形態			
けいたい 形態	けいたい 形態		
どうがさくせい 動画作成	がくせい どうがしりょうをさくせい きょうゆうするほうほう 学生が動画資料を作成し、クラスで共有する方法。		

れいわ ねんど
令和 5 年度シラバス

担当教員	実務経験
佐藤 晋亮	○
田中 正彦	○

対象学科	■IG □AI ■RI □GB □IL			
科目名	きかがくしゅう 機械学習			
年次	2年	かいこうき 開講期	だい き 第 2 期	くぶん 区分
				ひつしゅう せんたく ひつせん ■必修□選択□必選
				じゅぎょうじすう 授業時数
				じかん 36 時間
授業 到達目標	【授業の到達目標】 scikit-learnを利用して機械学習の実装経験を積み、実装を通じて具体的な事例でそれらの知識を説明できるようになる。			
授業概要	各回の冒頭で前回の内容をまとめた動画を共有する。続いて当日に取り組む範囲と扱う関数、何ができるようになるかを提示する。その後関数の書式を確認しつつ実行手順と動作を確認し、実際にコードを書き実行して理解を進める。			
授業の 運営方法	毎週Pythonによる機械学習プログラムを実装する。理解度テストを実施して当日学んだ内容を確認するほか、宿題としてポイントを紹介する動画を作成する。動画は次週の冒頭で共有する。			
担当教員 からの メッセージ	ひとくちに「機械学習」と言っても様々なテクニックがあり、必要なデータも処理の手順も異なります。それらを実装して動作させる経験を通じて共通点と相違点を知り、AIに関する学習を深めていきましょう。			
理解度 テスト	授業毎に、理解度テストを実施する。			
定期試験	【受験資格】出席率70%以上の学生 【試験方法】実技試験とGoogleFormsを併用			
成績評価 の 方法・基準	本校の成績評価基準に基づき、到達目標達成度を次の方法で評価する。 ・定期試験：50% ・理解度テスト：40% ・平常点：10%			
オフィス アワー	放課後に対面で対応。その他の時間帯は個別に相談のこと。			
教材	オリジナル教材・資料			
参考書	[第3版] Python機械学習プログラミング Sebastian Raschka 著 (インプレス)			

かもくめい 科目名	きかいがくしゅう 機械学習	たんとくきょういん 担当教員	佐藤／田中
じゅぎょうけいかく 授業計画			
かいすう 回数	じゅぎょうないよう 授業内容	けいたい ALの形態	じゅぎょうねらい 授業の狙い
1しゅうめ 1週目	かんじょうぶんせき ひょうか 感情分析(1)。テキストデータから「ポジティブな評価」 はんてい しくみ まなぶ を判定する仕組みを学ぶ。	どうがさくせい 動画作成	
2しゅうめ 2週目	かんじょうぶんせき えいが 感情分析(2)。映画レビューデータセット(IMDb)を利用 してテキストデータから感情分析を行う。	どうがさくせい 動画作成	
3しゅうめ 3週目	くらすたぶんせき クラスタ分析(1)。k-means法と、類似度によるオブジェク トのグループ化の仕組みを学ぶ。	どうがさくせい 動画作成	
4しゅうめ 4週目	くらすたぶんせき クラスタ分析(2)。k-means法で、類似度によるオブジェク トのグループ化を実装する。	どうがさくせい 動画作成	ぐたいてきなれいだい とりくみ 具体的な例題に取り組み、 じつそう 実装によって仕組みを りかい 理解する。
5しゅうめ 5週目	webあぷりけいしょんをつくる Webアプリケーションを作る(1)。Webアプリケーションの 仕組みとSQLiteデータベースの扱いを学ぶ。	どうがさくせい 動画作成	
6しゅうめ 6週目	webあぷりけいしょんをつくる がくしゅうずみ Webアプリケーションを作る(2)。学習済みのAIを使ってWeb アプリケーションを実装する。	どうがさくせい 動画作成	
7しゅうめ 7週目	きかいがくしゅう 機械学習についてまとめる。	どうがさくせい 動画作成	
8しゅうめ 8週目	ふくしゅう ていきしけん 復習と定期試験		
9しゅうめ 9週目	ていきしけん かいせつ 定期試験の解説とまとめ		
アクティブラーニング(AL)の形態			
けいたい 形態	けいたい 形態		
どうがさくせい 動画作成	がくせい どうがしりょうをさくせい 学生が動画資料を作成し、クラスで共有する方法。		

れいわ ねんど
令和 5 年度シラバス

				担当教員	実務経験
				佐藤 晋亮	○
				田中 正彦	○
対象学科	■IG □AI ■RI □GB □IL				
科目名	ディープラーニング				
年次	2年	開講期	第3期	区分	必修□選択□必選
				授業時数	36 時間
授業到達目標	<p>【授業の到達目標】</p> <p>Pythonでディープラーニングを実装し、ニューラルネットワークの仕組みを理解するとともに、Pythonのコーディング技術の向上を図る。</p>				
授業概要	<p>各回の冒頭で前回の内容をまとめた動画を共有する。続いて当日に取り組む範囲と扱う関数、何ができるようになるかを提示する。その後関数の書式を確認しつつ実行手順と動作を確認し、実際にコードを書き実行して理解を進める。</p>				
授業の運営方法	<p>毎週Pythonによるニューラルネットワーク、ディープラーニングの実装を進める。理解度テストを実施して当日学んだ内容を確認するほか、宿題としてポイントを紹介する動画を作成する。動画は次週の冒頭で共有する。</p>				
担当教員からのメッセージ	<p>AIの技術のうち最も理解しやすい技術がニューラルネットワークです。ディープラーニングの仕組みを理解して活用しましょう。</p>				
理解度テスト	<p>授業毎に、理解度テストを実施する。</p>				
定期試験	<p>【受験資格】出席率70%以上の学生 【試験方法】実技試験とGoogleFormsを併用</p>				
成績評価の方法・基準	<p>本校の成績評価基準に基づき、到達目標達成度を次の方法で評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期試験：50% 理解度テスト：40% 平常点：10% 				
オフィスアワー	<p>放課後に対面で対応。その他の時間帯は個別に相談のこと。</p>				
教材	<p>オリジナル教材・資料</p>				
参考書	<p>[第3版] Python機械学習プログラミング Sebastian Raschka 著 (インプレス)</p>				

かもくめい 科目名	ディープラーニング	たんとうきょういん 担当教員	佐藤／田中
じゅぎょう けい かく 授 業 計 画			
かいすう 回数	じゅぎょうないよう 授業内容	けいたい AL の形態	じゅぎょう ねらい 授業の狙い
1しゅうめ 1週目	ニューラルネットワークの仕組みを復習する。ニューロンの動作、重みとしきい値について確認する。	動画作成	
2しゅうめ 2週目	ニューラルネットワークを実装する(1)。2階層までのニューラルネットワークを実装する。	動画作成	ニューラルネットワークの仕組みを把握する。
3しゅうめ 3週目	ニューラルネットワークを実装する(2)。多層のニューラルネットワークを実装し、手書き文字認識に取り組む。	動画作成	
4しゅうめ 4週目	TensorFlowによる並列化。TensorFlow Dataset APIを利用して処理を並列化させる。	動画作成	
5しゅうめ 5週目	画像分類(1)。畳込みニューラルネットワークの仕組みと操作を学ぶ。	動画作成	
6しゅうめ 6週目	画像分類(2)。畳込みニューラルネットワークを実装して画像の分類に取り組む。	動画作成	
7しゅうめ 7週目	ニューラルネットワーク、ディープラーニングについてまとめる。	動画作成	
8しゅうめ 8週目	復習と定期試験		
9しゅうめ 9週目	定期試験の解説とまとめ		
アクティブラーニング(AL)の形態			
形態	形態		
動画作成	学生が動画資料を作成し、クラスで共有する方法。		

れいわ ねんど
令和 5 年度シラバス

	担当教員		実務経験				
	佐藤 晋亮		○				
	田中 正彦		○				
対象学科	■IG □AI ■RI □GB □IL						
科目名	AI・API活用						
年次	2年	開講期	第4期	区分	必修□選択□必選	授業時数	36時間
授業 到達目標	【授業の到達目標】 AWSが提供するAIサービスを利用して音声合成などの応用に取り組む。トレーニング済みのAIサービスを利用することで容易にアプリケーションを開発するプロセスを学ぶ。						
授業概要	各回の冒頭で前回の内容をまとめた動画を共有する。続いて当日に取り組む範囲と扱う関数、何ができるようになるかを提示する。その後関数の書式を確認しつつ実行手順と動作を確認し、実際にコードを書き実行して理解を進める。						
授業の 運営方法	毎週AWS AIサービスによるAIシステム開発に取り組み、アプリケーション開発手法の理解に役立てる。理解度テストを実施して当日学んだ内容を確認するほか、宿題としてポイントを紹介する動画を作成する。動画は次週の冒頭で共有する。						
担当教員 からの メッセージ	AIはデータを収集し、モデルを組んで訓練してみないとどの程度のことのできるかわかりません。既に訓練済みのAIを利用して、品質面の心配なくシステムを開発することができます。AIそのものではなく開発に重点をおいて学びましょう。						
理解度 テスト	授業毎に、理解度テストを実施する。						
定期試験	【受験資格】出席率70%以上の学生 【試験方法】実技試験とGoogleFormsを併用						
成績評価 の方法・基準	本校の成績評価基準に基づき、到達目標達成度を次の方法で評価する。 ・定期試験：50% ・理解度テスト：40% ・平常点：10%						
オフィス アワー	放課後に対面で対応。その他の時間帯は個別に相談のこと。						
教材	オリジナル教材・資料						
参考書	AWSでつくる AIプログラミング入門 松浦健一郎 著 (秀和システム)						

かもくめい 科目名	かつよう AI・API活用	たんとうきょういん 担当教員	佐藤／田中
じゅぎょうけいかく 授業計画			
かいすう 回数	じゅぎょうないよう 授業内容	けいたい ALの形態	じゅぎょうねらい 授業の狙い
1しゅうめ 1週目	さくせい AWSアカウントを作成し、AWS CLIなどのツールをインストール、設定する。	どうがさくせい 動画作成	AWSのAIサービスを利用する仕組みを把握する。
2しゅうめ 2週目	ほんやく AIサービスによる翻訳。テキストファイルやJSONファイルを翻訳する。	どうがさくせい 動画作成	
3しゅうめ 3週目	おんせいごうせい 音声合成。テキストを翻訳して音声合成する。	どうがさくせい 動画作成	
4しゅうめ 4週目	おんせい 音声ファイルからテキストを生成する。	どうがさくせい 動画作成	
5しゅうめ 5週目	がぞうぶんせき 画像分析。画像内の顔や物を検出する。	どうがさくせい 動画作成	
6しゅうめ 6週目	がぞう 画像からテキストを抽出する。画像内の文字列や表の値を取得する。	どうがさくせい 動画作成	ぐたいてきなれいだい 具体的な例題に取り組み、 じつそう 実装によって仕組みを りかい 理解する。
7しゅうめ 7週目	AIサービスについてまとめる。	どうがさくせい 動画作成	
8しゅうめ 8週目	ふくしゅう 復習と定期試験		
9しゅうめ 9週目	ていきしけん 定期試験の解説とまとめ		
アクティブラーニング(AL)の形態			
けいたい 形態	けいたい 形態		
どうがさくせい 動画作成	がくせい 学生が動画資料を作成し、クラスで共有する方法。		

れいわ ねんど
令和 5 年度シラバス

				たんとくきょういん 担当教員	じつむけいけん 実務経験
				花島 恒登	○
				三輪 基敦	○
対象学科	■IG ■AI ■RI □GB □IL			田中 正彦	○
かもくめい 科目名	コミュニケーション <small>ぎほうえんしゅう</small> 技法演習a				
ねんじ 年次	ねん 2年	かいこうき 開講期	だい き 第1期	くぶん 区分	ひっしゅう せんたく ひつせん □必修■選択□必選
				じゅぎょうじすう 授業時数	じかん 9時間
じゅぎょう 授業 とうたつむくひょう 到達目標	<p>(さいしゅうきじゅぎょう とうたつむくひょう) 【最終期授業の到達目標】 社会で活躍するために必要なコミュニケーションスキルを身につける。</p> <p>【当期授業の到達目標】 コミュニケーションとは何かを知り、その大切さを実感したうえで、コミュニケーションスキルを身につける。</p>				
じゅぎょうがいよう 授業概要	IT系実務経験者により、コミュニケーションについての必要性/重要性を伝える。クラスをいくつかのグループに分け、ワークショップ形式の実習を通して、「傾聴力」「説明力」「質問力」「協調性」等を伸ばしていく。特にaでは人との会話（面接なども含め）について集中的に実施する。				
じゅぎょう 授業の うんえいほうほう 運営方法	毎授業、テーマを決めてそのテーマについて学習を行う。学習は、グループに分かれて、グループごとにディスカッションなどを行っていく。				
たんとくきょういん 担当教員 からの めっせーじ メッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・批判はせず、まず受け入れる事。 ・積極的に発言をすること。 まだ話したことがないクラスメイトなどとも積極的に話をして、コミュニケーション力を身につけていきましょう。				
りかいど 理解度 テスト	授業毎に、理解度テストを実施。				
ていきしけん 定期試験	<p>【受験資格】出席率70%以上の学生</p> <p>【試験方法】筆記試験（過去問題より出題する）</p>				
せいせきひょうか 成績評価 の ほうほう きじゅん 方法・基準	本校の成績評価基準に基づき、到達目標達成度を次の方法で評価する。 <ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 50% ・平常点（授業態度や演習への取り組み）10% ・理解度テスト 40% 				
おふいす オフィス あわー アワー	放課後、メールベースあるいは対面にて対応。但し、事前に都合を確認のこと。				
きょうざい 教材	なし				
さんこうしょ 参考書	『コミュニケーション大百科』戸田久実 著 かんき出版 価格1400円＋税 『若者のためのコミュニケーションスキル練習帳』秋山剛監修 定価 3200円＋税 『コミュニケーションスキルが身につくレクチャー&ワークシート』西村信幸 著 学事出版 定価1800円＋税				

科目名	コミュニケーション技法演習a <small>ぎほうえんしゅう</small>	担当教員 <small>たんとくぎょういん</small>	花島/三輪/田中
授業計画 <small>じゅぎょうけいかく</small>			
回数 <small>かいすう</small>	授業内容 <small>じゅぎょうないよう</small>	ALの形態 <small>けいたい</small>	授業の狙い <small>じゅぎょうねらい</small>
1しゅうめ 1週目	ガイダンス コミュニケーションとは <small>がいだんす</small>	事前学習型 <small>じぜんがくしゅうがた</small>	グループワークを通して コミュニケーション力を 身につける
2しゅうめ 2週目	コミュニケーションスキル 前段階 自分を知ろう (ジョハリの窓)	グループ ワーク	
3しゅうめ 3週目	コミュニケーションスキル 前段階 自分を知ろう (性格/交流分析)	グループ ワーク	
4しゅうめ 4週目	コミュニケーションスキル 前段階 自分を知ろう (こころについて)	グループ ワーク	
5しゅうめ 5週目	コミュニケーションの基本① 「伝える」 人とつながろう	グループ ワーク	
6しゅうめ 6週目	コミュニケーションの基本① 「伝える」 対人関係の基本	グループ ワーク	
7しゅうめ 7週目	コミュニケーションの基本① 「伝える」 言いたいことをうまく伝える技術	グループ ワーク	
8しゅうめ 8週目	復習及び定期試験 <small>ふくしゅうおよびていきしけん</small>		知識の定着確認 <small>ちしき ていちゃくかくにん</small>
9しゅうめ 9週目	定期試験内容の解説 <small>ていきしけんないよう かいせつ</small>		
AL形態の内容 <small>けいたい ないよう</small> グループワーク：学生を少人数のグループに分け、与えられた課題に協同で取り組ませる方法。 2人組によるペアワークも含む。			

れいわ ねんど
令和 5 年度シラバス

				たんとくきょういん 担当教員	じつむけいけん 実務経験			
				花島 恒登	○			
				三輪 基敦	○			
				田中 正彦	○			
対象学科	■IG ■AI ■RI □GB □IL							
かもくめい 科目名	コミュニケーション <small>ぎほうえんしゅう</small> 技法演習b							
ねんじ 年次	ねん 2年	かいこうき 開講期	だい き 第2期	くぶん 区分	ひっしゅう せんたく ひつせん □必修■選択□必選	じゅぎょうじすう 授業時数	じかん 9時間	
じゅぎょう 授業 とうたつもくひょう 到達目標	<p>(さいしゅうきじゅぎょう とうたつもくひょう) 【最終期授業の到達目標】 社会で活躍するために必要なコミュニケーションスキルを身につける。</p> <p>(とうきじゅぎょう とうたつもくひょう) 【当期授業の到達目標】 コミュニケーションとは何かを知り、その大切さを実感したうえで、コミュニケーションスキルを身につける。</p>							
じゅぎょうがいよう 授業概要	IT系実務経験者により、コミュニケーションについての必要性/重要性を伝える。クラスをいくつかのグループに分け、ワークショップ形式の実習を通して、「傾聴力」「説明力」「質問力」「協調性」等を伸ばしていく。							
じゅぎょう 授業の うんえいほうほう 運営方法	毎授業、テーマを決めてそのテーマについて学習を行う。学習は、グループに分かれて、グループごとにディスカッションなどを行っていく。							
たんとくきょういん 担当教員 からの めっせーじ メッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・批判はせず、まず受け入れる事。 ・積極的に発言をすること。 ・まだ話したことがないクラスメイトなどとも積極的に話をして、コミュニケーション力を身につけていきましょう。 							
りかいど 理解度 テスト	じゅぎょうごと 授業毎に、理解度テストを実施。							
ていきしけん 定期試験	<p>(じゅけんしかく) しゅつせきりつ70% いじょう がくせい 【受験資格】出席率70%以上の学生</p> <p>(しけんほうほう) ひつきしけん か こもんだい しゅつだい 【試験方法】筆記試験(過去問題より出題する)</p>							
せいせきひょうか 成績評価 の ほうほう きじゆん 方法・基準	<p>ほんこう せいせきひょうかきじゆん もとづき とうたつもくひょうたつせいど つぎ ほうほう ひょうか 本校の成績評価基準に基づき、到達目標達成度を次の方法で評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 50% ・平常点(授業態度や演習への取り組み) 10% ・理解度テスト 40% 							
おふいす オフィス あわー アワー	ほうかご めーる べーす 放課後、メールベースあるいは対面にて対応。但し、事前に都合を確認のこと。							
きょう ざい 教材	なし							
さんこうしょ 参考書	<p>『コミュニケーション大百科』戸田久実 著 かんき出版 価格1400円+税</p> <p>『若者のためのコミュニケーションスキル練習帳』秋山剛監修 定価 3200円+税</p> <p>『コミュニケーションスキルが身につくレクチャー&ワークシート』西村信幸 著 学事出版 定価1800円+税</p>							

科目名	コミュニケーション技法演習b	担当教員	花島/三輪/田中
授業計画			
回数	授業内容	ALの形態	授業の狙い
1しゅうめ 1週目	コミュニケーションの基本②「聴く」 上手な聴き方をしよう	グループ ワーク	グループワークを通して コミュニケーション力を 身につける
2しゅうめ 2週目	コミュニケーションの基本②「聴く」 悩みを聴く/正しく理解する	グループ ワーク	
3しゅうめ 3週目	コミュニケーションの基本②「聴く」 傾聴とは/聞くことの重要性	グループ ワーク	
4しゅうめ 4週目	コミュニケーションの基本②「聴く」 傾聴の技術	グループ ワーク	
5しゅうめ 5週目	コミュニケーションの基本③「対応する」 質問の重要性	グループ ワーク	
6しゅうめ 6週目	コミュニケーションの基本③「対応する」 質問力を身につける	グループ ワーク	
7しゅうめ 7週目	コミュニケーションの基本③「対応する」 賛成や反対をする	グループ ワーク	
8しゅうめ 8週目	ふくしゅうおよび定期試験 復習及び定期試験		ちしき ていぢやくかくにん 知識の定着確認
9しゅうめ 9週目	ていぢやくしけんないよう かいせつ 定期試験内容の解説		
AL形態の内容 グループワーク：学生を少人数のグループに分け、与えられた課題に協同で取り組ませる方法。 2人組によるペアワークも含む。			

れいわ ねんど
令和 5 年度シラバス

				たんとくきょういん 担当教員	じつむけいけん 実務経験
				花島 恒登	○
				三輪 基敦	○
対象学科	■IG ■AI ■RI □GB □IL			田中 正彦	○
かもくめい 科目名	コミュニケーション技法演習c				
ねんじ 年次	ねん 2年	かいこうき 開講期	だい き 第3期	くぶん 区分	ひっしゅう せんたく ひつせん □必修■選択□必選
				じゅぎょうじすう 授業時数	じかん 9時間
じゅぎょう 授業 とうたつもくひょう 到達目標	<p>(さいしゅうきじゅぎょう とうたつもくひょう) 【最終期授業の到達目標】 社会で活躍するために必要なコミュニケーションスキルを身につける。</p> <p>(とうきじゅぎょう とうたつもくひょう) 【当期授業の到達目標】 コミュニケーションとは何かを知り、その大切さを実感したうえで、コミュニケーションスキルを身につける。</p>				
じゅぎょうがいよう 授業概要	IT系実務経験者により、コミュニケーションについての必要性/重要性を伝える。クラスをいくつかのグループに分け、ワークショップ形式の実習を通して、「傾聴力」「説明力」「質問力」「協調性」等を伸ばしていく。				
じゅぎょう 授業の うんえいほうほう 運営方法	毎授業、テーマを決めてそのテーマについて学習を行う。学習は、グループに分かれて、グループごとにディスカッションなどを行っていく。				
たんとくきょういん 担当教員 からの めっせーじ メッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・批判はせず、まず受け入れる事。 ・積極的に発言をすること。 まだ話したことがないクラスメイトなどとも積極的に話をして、コミュニケーション力を身につけていきましょう。				
りかいど 理解度 テスト	授業毎に、理解度テストを実施。				
ていきしけん 定期試験	<p>(じゅけんしかく) しゅつせきりつ70% いじょう がくせい 【受験資格】出席率70%以上の学生</p> <p>(しけんほうほう) ひつきしけん か こもんだい しゅつだい 【試験方法】筆記試験 (過去問題より出題する)</p>				
せいせきひょうか 成績評価 の ほうほう きじゆん 方法・基準	<p>ほんこう せいせきひょうかきじゆん もとづき とうたつもくひょうたつせいど つぎ ほうほう ひょうか 本校の成績評価基準に基づき、到達目標達成度を次の方法で評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 50% ・平常点 (授業態度や演習への取り組み) 10% ・理解度テスト 40% 				
おふいす オフィス あわー アワー	放課後、メールベースあるいは対面にて対応。但し、事前に都合を確認のこと。				
きょうざい 教材	なし				
さんこうしょ 参考書	<p>『コミュニケーション大百科』戸田久実 著 かんき出版 価格1400円+税</p> <p>『若者のためのコミュニケーションスキル練習帳』秋山剛監修 定価 3200円+税</p> <p>『コミュニケーションスキルが身につくレクチャー&ワークシート』西村信幸 著 学事出版 定価1800円+税</p>				

科目名	コミュニケーション技法演習c	担当教員	花島/三輪/田中
授業計画			
回数	授業内容	ALの形態	授業の狙い
1しゅうめ 1週目	コミュニケーションの基本④ 意見が合わないとき（合意形成）	じぜんがくしゅうがた 事前学習型	グループワークを通して コミュニケーション力を 身につける
2しゅうめ 2週目	コミュニケーションの基本⑤ 自分から切り出す/切り返す	グループ ワーク	
3しゅうめ 3週目	コミュニケーションの基本⑤ 自分から切り出す/切り返す（相談）	グループ ワーク	
4しゅうめ 4週目	コミュニケーションスキル 大勢の前で話す（全体像）	じぜんがくしゅうがた 事前学習型	
5しゅうめ 5週目	コミュニケーションスキル 大勢の前で話す（話し方のコツ）	グループ ワーク	
6しゅうめ 6週目	コミュニケーションスキル 大勢の前で話す（プレゼンを試してみる）	グループ ワーク	
7しゅうめ 7週目	コミュニケーションスキル 大勢の前で話す（プレゼンを試してみる）	グループ ワーク	
8しゅうめ 8週目	ふくしゅうおよび定期試験		ちしき ていちゃくかくにん 知識の定着確認
9しゅうめ 9週目	ていきしけんないよう かいせつ 定期試験内容の解説		
<p>AL形態の内容</p> <p>グループワーク：学生を少人数のグループに分け、与えられた課題に協同で取り組ませる方法。 2人組によるペアワークも含む。</p> <p>事前学習型：あらかじめ講師が掲示した資料を読み事前に学習し、実践を中心とした講義。</p>			

れいわ ねんど
令和 5 年度シラバス

				たんとくきょういん 担当教員		じつむけいけん 実務経験		
				花島 恒登		○		
				三輪 基敦		○		
対象学科				■IG ■AI ■RI □GB □IL		田中 正彦		
科目名				コミュニケーション技法演習d				
ねんじ 年次		ねん 2年	かいこうき 開講期	だい き 第4期	くぶん 区分	ひっしゅう せんたく ひつせん □必修■選択□必選	じゅぎょうじすう 授業時数	じかん 9時間
じゅぎょう 授業 とうたつもくひょう 到達目標		(さいしゅうきじゅぎょう とうたつもくひょう) 【最終期授業の到達目標】 社会で活躍するために必要なコミュニケーションスキルを身につける。 (とうきじゅぎょう とうたつもくひょう) 【当期授業の到達目標】 コミュニケーションとは何かを知り、その大切さを実感したうえで、コミュニケーションスキルを身につける。						
じゅぎょうがいよう 授業概要		ITけいじつむけいけんしや IT系実務経験者により、コミュニケーションについての必要性/重要性を伝える。クラスをいくつかのグループに分け、ワークショップ形式の実習を通して、「傾聴力」「説明力」「質問力」「協調性」等を伸ばしていく。						
じゅぎょう 授業の うんえいほうほう 運営方法		毎授業、テーマを決めてそのテーマについて学習を行う。学習は、グループに分かれて、グループごとにディスカッションなどを行っていく。						
たんとくきょういん 担当教員 からの めっせーじ メッセージ		・批判はせず、まず受け入れる事。 ・積極的に発言をすること。 まだ話したことがないクラスメイトなどとも積極的に話をして、コミュニケーション力を身につけていきましょう。						
りかいど 理解度 てすと テスト		じゅぎょうごと 授業毎に、理解度テストを実施。						
ていきしけん 定期試験		(じゅけんしかく) しゅつせきりつ70% いじょう がくせい 【受験資格】 出席率70%以上の学生 (しけんほうほう) ひつきしけん か こもんだい しゅつだい 【試験方法】 筆記試験 (過去問題より出題する)						
せいせきひょうか 成績評価 の ほうほう きじゆん 方法・基準		ほんこう せいせきひょうかきじゆん もとづき とうたつもくひょうたつせいど つぎ ほうほう ひょうか 本校の成績評価基準に基づき、到達目標達成度を次の方法で評価する。 ・定期試験 50% ・平常点 (授業態度や演習への取り組み) 10% ・理解度テスト 40%						
おふいす オフィス あわー アワー		ほうかご めーる べーす たいめん たいおう ただし じぜん つごう かくにん 放課後、メールベースあるいは対面にて対応。但し、事前に都合を確認のこと。						
きょうざい 教材		なし						
さんこうしょ 参考書		なし						

科目名	コミュニケーション技法演習 d	担当教員	花島/三輪/田中
授 業 計 画			
回数	授業内容	AL の形態	授業の狙い
1しゅうめ 1週目	文書によるコミュニケーション 文書によるコミュニケーションの重要性	じぜんがくしゅうがた 事前学習型	グループワークを通して コミュニケーション力を 身につける
2しゅうめ 2週目	文書によるコミュニケーション 文の書き方	じぜんがくしゅうがた 事前学習型	
3しゅうめ 3週目	文書によるコミュニケーション 文の書き方 (演習)	じぜんがくしゅうがた 事前学習型	
4しゅうめ 4週目	文書によるコミュニケーション 文章の書き方	じぜんがくしゅうがた 事前学習型	
5しゅうめ 5週目	文書によるコミュニケーション 文章の書き方 (演習)	じぜんがくしゅうがた 事前学習型	
6しゅうめ 6週目	文書によるコミュニケーション 文書の作成	じぜんがくしゅうがた 事前学習型	
7しゅうめ 7週目	文書の作成	じぜんがくしゅうがた 事前学習型	
8しゅうめ 8週目	ふくしゅうおよび定期試験		ちしき ていちゃくかくにん 知識の定着確認
9しゅうめ 9週目	ていきしけんないよう かいせつ 定期試験内容の解説		
<p>AL形態の内容</p> <p>事前学習型：あらかじめ講師が掲示した資料を読み事前に学習し、実践を中心とした講義。</p> <p>グループワーク：学生を少人数のグループに分け、与えられた課題に協同で取り組ませる方法。 2人組によるペアワークも含む。</p>			

れいわ ねんど
令和 5 年度シラバス

		たんとうきょういん 担当教員	じつむけいけん 実務経験
		花島 恒登	○
		三輪 基敦	○
対象学科	■IG ■AI ■RI □GB □IL	田中 正彦	○
科目名	じっせん 実践ゼミ a		
年次	ねん 2年	かいこうき 開講期	だい き 第 1 期
		くぶん 区分	ひっしゅう せんたく ひっせん □必修■選択□必選
			じゅぎょうじすう 授業時数
			じかん 9 時間
授業 到達目標	<p>【最終期授業の到達目標】 就 職 活 動 を 行 い な が ら、 活 動 上 の 問 題 点 を 整 理 し 対 策 す る こ と に よ っ て 活 動 の 質 を 向 上 し、 就 職 内 定 で き る。</p> <p>【当期授業の到達目標】 最終期授業の到達目標に同じ。</p>		
授業概要	<p>IT 業 界 で の シ ス テ ム 開 発 の 経 験 を 有 す る 教 員 が、 職 場 で の 体 験 に つ い て 解 説 す る。 就 職 す る た め に 必 要 な 準 備、 活 動 に つ い て 理 解 し、 実 際 に 就 職 活 動 を 行 う。</p>		
授業の 運営方法	<p>授 業 時 間 ま で に 行 っ た 活 動 に つ い て の 報 告 を 受 け、 活 動 に つ い て ア ド バ イ ス す る。 YSE キ ャ リ ア ネ ッ ト な ど を 提 示 し な が ら、 就 職 活 動 で の 注 意 点 を 講 義 す る。 必 要 に 応 じ て 面 接 な ど の ロ ー ル プ レ イ を 実 施 す る。</p> <p>就 職 内 定 し た 者 は 自 指 ず 検 定 試 験 に 向 け て 自 習 す る こ と。</p>		
担当教員 からの メッセージ	<p>就 職 内 定 す る た め に は、 早 め の 動 き 出 し が 肝 心 で あ る。 1 年 次 の ホ ー ム ル ー ム で の 学 習 を 踏 ま え、 積 極 的 に 就 職 活 動 に 取 り 組 ん で い た だ き た い。</p>		
理解度テ スト、課題 (レポート 等)	<p>ま い か い F o r m s による理解度テストを実施する。</p>		
定期試験	<p>【受験資格】 出席率70%以上の学生 【試験方法】 ペーパーテストを実施する。</p>		
成績評価 の 方法・基準	<p>平 常 点 10%、 理 解 度 テ ス ト 40%、 定 期 試 験 50%。</p>		
オフィス アワー	<p>毎 日 放 課 後 に 対 応 す る。 事 前 に 口 頭 また は メ ー ル で 予 約 し、 承 認 を 得 る こ と。</p>		
教 材	<p>なし</p>		
参考書	<p>YSE キ ャ リ ア ネ ッ ト、 マ イ ナ ビ ・ リ ク ナ ビ な ど の 就 職 情 報 サ イ ト</p>		

科目名 かもくめい	じっせん 実践ゼミ a	たんとうきょういん 担当教員	花島/三輪/田中
授 業 計 画			
回数	授業内容	AL の形態	授業の狙い
1 週目	しゅうしょくかつどう る ー る かくにん 就 職 活動のルールの確認		活動報告を行うことによって今までの就職活動について振り返り、活動内容の質の向上を図る。
2 週目	かつどうほうこく と それに たいする あど ばい す 活動報告とそれに対するアドバイス	ロールプレイ	
3 週目	かつどうほうこく と それに たいする あど ばい す 活動報告とそれに対するアドバイス	ロールプレイ	
4 週目	かつどうほうこく と それに たいする あど ばい す 活動報告とそれに対するアドバイス	ロールプレイ	
5 週目	かつどうほうこく と それに たいする あど ばい す 活動報告とそれに対するアドバイス	ロールプレイ	
6 週目	かつどうほうこく と それに たいする あど ばい す 活動報告とそれに対するアドバイス	ロールプレイ	
7 週目	かつどうほうこく と それに たいする あど ばい す 活動報告とそれに対するアドバイス	ロールプレイ	
8 週目	ていきしけん 定期試験		
9 週目	まとめと ぶ かい り まとめと振り返り		
<p>アクティブラーニングの類型</p> <p>がくせい とくてい やくわり あたえてえんじさせる つうじ たちば ひとなど かんがえかた</p> <p>・ロールプレイ…学生に特定の役割を与えて演じさせることを通じ、それぞれの立場の人等の考え方を</p> <p>たいけんでき まなぶほうほう</p> <p>体験的に学ぶ方法。</p>			

れいわ ねんど
令和 5 年度シラバス

				担当教員	実務経験
				花島 恒登	○
				三輪 基敦	○
対象学科	■IG ■AI ■RI □GB □IL			田中 正彦	○
科目名	実践ゼミ b				
年次	2年	開講期	第2期	区分	<input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択 <input type="checkbox"/> 必選
授業 到達目標	<p>【最終期授業の到達目標】 就職活動を行いながら、活動上の問題点を整理し対策することによって活動の質を向上し、就職内定できる。</p> <p>【当期授業の到達目標】 最終期授業の到達目標に同じ。</p>				
授業概要	IT業界でのシステム開発の経験を有する教員が、職場での体験について解説する。就職するために必要な準備、活動について理解し、実際に就職活動を行う。				
授業の 運営方法	授業時までに行った活動についての報告を受け、活動についてアドバイスする。YSEキャリアネットなどを提示しながら、就職活動での注意点を講義する。必要に応じて面接などのロールプレイを実施する。 就職内定した者は目指す検定試験に向けて自習すること。				
担当教員 からの メッセージ	就職内定するためには、早めの動き出しが肝心である。1年次のホームルームでの学習を踏まえ、積極的に就職活動に取り組んでいただきたい。				
理解度テ スト、課題 (レポート 等)	毎回Formsによる理解度テストを実施する。				
定期試験	<p>【受験資格】出席率70%以上の学生</p> <p>【試験方法】ペーパーテストを実施する。</p>				
成績評価 の 方法・基準	平常点10%、理解度テスト40%、定期試験50%。				
オフィス アワー	毎日放課後に対応する。事前に口頭またはメールで予約し、承認を得ること。				
教材	なし				
参考書	YSEキャリアネット、マイナビ・リクナビなどの就職情報サイト				

科目名 かもくめい	じっせん 実践ゼミ b	たんとくきょういん 担当教員	花島/三輪/田中
授 業 計 画			
回数	授業内容	AL の形態	授業の狙い
1 週目	しゅうしょくかつどう るーる かくにん 就 職 活動のルールの確認		
2 週目	かつどうほうこく と それに たいする あどばいす 活動報告とそれに対するアドバイス	ロールプレイ	
3 週目	かつどうほうこく と それに たいする あどばいす 活動報告とそれに対するアドバイス	ロールプレイ	
4 週目	かつどうほうこく と それに たいする あどばいす 活動報告とそれに対するアドバイス	ロールプレイ	かつどうほうこく おこなう 活動報告を行うことによ
5 週目	かつどうほうこく と それに たいする あどばいす 活動報告とそれに対するアドバイス	ロールプレイ	いま しゅうしょくかつどう って今までの就 職 活動
6 週目	かつどうほうこく と それに たいする あどばいす 活動報告とそれに対するアドバイス	ロールプレイ	ふりかえり かつどう について振り返り、活動
7 週目	かつどうほうこく と それに たいする あどばいす 活動報告とそれに対するアドバイス	ロールプレイ	ないよう しつ こうじょう はかる 内容の質の向上を図る。
8 週目	ていきしけん 定期試験		
9 週目	まとめとふりかえり まとめと振り返り		
<p>アクティブラーニングの類型</p> <ul style="list-style-type: none"> • ロールプレイ…学生に特定の役割を与えて演じさせることを通じ、それぞれの立場の人等の考え方を体験的に学ぶ方法。 			

れいわ ねんど
令和 5 年度シラバス

		たんとうきょういん 担当教員	じつむけいけん 実務経験
		花島 恒登	○
		三輪 基敦	○
		田中 正彦	○
対象学科	■IG ■AI ■RI □GB □IL		
科目名	じっせん 実践ゼミ c		
年次	ねん 2年	かいこうき 開講期	だい き 第3期
	くぶん 区分	ひっしゅう せんたく ひつせん □必修■選択□必選	じゅぎょうじすう 授業時数
	じかん 9時間		
授業 到達目標	<p>【最終期授業の到達目標】 就 職活動をおこなひながら、活動上の問題点を整理し対策することによって活動の質を向上し、就 職内定できる。</p> <p>【当期授業の到達目標】 最終期授業の到達目標に同じ。</p>		
授業概要	IT業界でのシステム開発の経験を有する教員が、職場での体験について解説する。就 職するために必要な準備、活動について理解し、実際に就 職活動を行う。		
授業の 運営方法	授業時までに行った活動についての報告を受け、活動についてアドバイスする。YSE キャリアネットなどを提示しながら、就 職活動での注意点を講義する。必要に応じて面接などのロールプレイを実施する。 就 職内定した者は目指す検定試験に向けて自習すること。		
担当教員 からの メッセージ	就 職内定するためには、早めの動き出しが肝心である。1年次のホームルームでの学習を踏まえ、積極的に就 職活動に取り組んでいただきたい。		
理解度テ スト、課題 (レポート 等)	毎回Formsによる理解度テストを実施する。		
定期試験	【受験資格】出席率70%以上の学生 【試験方法】ペーパーテストを実施する。		
成績評価 の 方法・基準	平常点10%、理解度テスト40%、定期試験50%。		
オフィス アワー	毎日放課後に対応する。事前に口頭またはメールで予約し、承認を得ること。		
教材	なし		
参考書	YSEキャリアネット、マイナビ・リクナビなどの就 職情報サイト		

科目名 かもくめい	じっせん 実践ゼミc	たんとうきょういん 担当教員	花島/三輪/田中
授 業 計 画			
回数	授業内容	AL の形態	授業の狙い
1 週目	しゅうしょくかつどう るーる かくにん 就 職 活動のルールの確認		
2 週目	かつどうほうこく と それに たいする あどばいす 活動報告とそれに対するアドバイス	ロールプレイ	
3 週目	かつどうほうこく と それに たいする あどばいす 活動報告とそれに対するアドバイス	ロールプレイ	
4 週目	かつどうほうこく と それに たいする あどばいす 活動報告とそれに対するアドバイス	ロールプレイ	かつどうほうこく おこなう 活動報告を行うことによ
5 週目	かつどうほうこく と それに たいする あどばいす 活動報告とそれに対するアドバイス	ロールプレイ	いま しゅうしょくかつどう って今までの就 職 活動
6 週目	かつどうほうこく と それに たいする あどばいす 活動報告とそれに対するアドバイス	ロールプレイ	ふりかえり かつどう について振り返り、活動
7 週目	かつどうほうこく と それに たいする あどばいす 活動報告とそれに対するアドバイス	ロールプレイ	ないよう しつ こうじょう はかる 内容の質の向上を図る。
8 週目	ていきしけん 定期試験		
9 週目	まとめとふりかえり まとめと振り返り		
<p>アクティブラーニングの類型</p> <ul style="list-style-type: none"> • ロールプレイ…学生に特定の役割を与えて演じさせることを通じ、それぞれの立場の人等の考え方を体験的に学ぶ方法。 			

れいわ ねんど
令和 5 年度シラバス

				たんとうきょういん 担当教員	じつむけいけん 実務経験
				花島 恒登	○
				三輪 基敦	○
対象学科	■IG ■AI ■RI □GB □IL			田中 正彦	○
科目名	じっせん 実践ゼミ d				
年次	ねん 2年	かいこうき 開講期	だい き 第4期	くぶん 区分	ひっしゅう せんたく ひつせん □必修■選択□必選
					じゅぎょうじすう 授業時数
					じかん 9時間
授業 到達目標	<p>【最終期授業の到達目標】 就 職 活動を行いながら、活動上の問題点を整理し対策することによって活動の質を向上し、就 職 内定できる。 【当期授業の到達目標】 最終期授業の到達目標に同じ。</p>				
授業概要	IT業界でのシステム開発の経験を有する教員が、職場での体験について解説する。就 職 するために必要な準備、活動について理解し、実際に就 職 活動を行う。				
授業の 運営方法	授業時までに行った活動についての報告を受け、活動についてアドバイスする。YSE キャリアネットなどを提示しながら、就 職 活動での注意点を講義する。必要に応じて面接などのロールプレイを実施する。 就 職 内定した者は目指す検定試験に向けて自習すること。				
担当教員 からの メッセージ	就 職 内定するためには、早めの動き出しが肝心である。1年次のホームルームでの学習を踏まえ、積極的に就 職 活動に取り組んでいただきたい。				
理解度テ スト、課題 (レポート 等)	毎回Formsによる理解度テストを実施する。				
定期試験	【受験資格】出席率70%以上の学生 【試験方法】ペーパーテストを実施する。				
成績評価 の 方法・基準	平常点10%、理解度テスト40%、定期試験50%。				
オフィス アワー	毎日放課後に対応する。事前に口頭またはメールで予約し、承認を得ること。				
教 材	なし				
参考書	YSEキャリアネット、マイナビ・リクナビなどの就 職 情報サイト				

科目名 かもくめい	実践ゼミ d じっせん	担当教員 たんとくきょういん	花島/三輪/田中
授 業 計 画			
回数	授業内容	AL の形態	授業の狙い
1 週目	就職活動のルールの確認 しゅうしょくかつどう るーる かくにん		
2 週目	活動報告とそれに対するアドバイス かつどうほうこく たいするあどばいす	ロールプレイ	
3 週目	活動報告とそれに対するアドバイス かつどうほうこく たいするあどばいす	ロールプレイ	
4 週目	活動報告とそれに対するアドバイス かつどうほうこく たいするあどばいす	ロールプレイ	活動報告を行うことによ かつどうほうこく おこなう
5 週目	活動報告とそれに対するアドバイス かつどうほうこく たいするあどばいす	ロールプレイ	って今までの就職活動 いま しゅうしょくかつどう
6 週目	活動報告とそれに対するアドバイス かつどうほうこく たいするあどばいす	ロールプレイ	について振り返り、活動 ふりかえり かつどう
7 週目	活動報告とそれに対するアドバイス かつどうほうこく たいするあどばいす	ロールプレイ	内容の質の向上を図る。 ないよう しつ こうじょう はかる
8 週目	定期試験 ていきしけん		
9 週目	まとめと振り返り ふりかえり		
<p>アクティブラーニングの類型 るいけい</p> <p>• ロールプレイ…学生に特定の役割を与えて演じさせることを通じ、それぞれの立場の人等の考え方を がくせい とくてい やくわり あたえてえんじさせる つうじ たちば ひとなど かんがえかた</p> <p>体験的に学ぶ方法。 たいけんてき まなぶほうほう</p>			

れいわ ねんど
令和 5 年度シラバス

たんとうきょういん
担当教員

じつむけいけん
実務経験

たいしょうがつか 対象学科	■IG ■AI ■RI □GB □IL			加藤 巧	○
かまくめい 科目名	じょうほうえいごきそ 情報英語基礎Ⅱa				
ねんじ 年次	ねん 2年	かいこうき 開講期	だい1き 第1期	区分	ひつしゅう せんたく ヒツセン □必修 ■選択 □必選
					じゅぎょうじすう 授業時数
					じかん 18時間
じゅぎょう 授業 とうたつもくひょう 到達目標	<p>【最終期授業の到達目標】</p> <p>職場において国籍・文化も異なる多種多様な人材と協働しながら英語で効果的に業務を遂行できる、より実践的なコミュニケーション能力の獲得を目指します。</p> <p>【当期授業の到達目標】</p> <p>基本的な英文法を理解することを心がけ英語の文章構成の基礎となる基本5文型を習得、併行して職場での簡潔な自己紹介とはどのようなものか理解する。</p>				
じゅぎょうがいよう 授業概要	<p>まずは基礎構文を復習するところから始めます。基本5文型(1. S+V 2. S+V+C 3. S+V+O 4. S+V+O+O 5. S+V+O+C)英文は必ず声に出して、発音矯正に努め進めていきます。職場での自己紹介は紹介するトピックが異なります。一般の自己紹介は内容が自分にフォーカスしているがビジネスシーンでの自己紹介は自分に紐づいたビジネス・プロジェクトにフォーカスする場合があります。相手が知りたいのは 1. あなたが何をしている人か 2. どのくらいの地位の人なのか 3. 経験はどのくらいあるのか基本ビジネスシーンに特化し学習します。</p>				
じゅぎょう 授業の うんえいほうほう 運営方法	<p>パワーポイント講義 及び 質疑応答形式。 適宜インターネット配信されている教材を視聴し実際に声に出して発音矯正しながら授業を進める。 Forms理解度テスト2回及び適宜Classroomへ講義内容を配信し、各自英語ノートでそれを整理し復習・予習を習慣づける。 *全体の習熟度を確認し先に進めていきます。</p>				
たんとうきょういん 担当教員 からの メッセージ	<p>英語特有の構文及び英文法の基礎理解が欠かせません。音楽に置き換えれば”楽譜 “の読み取りが出来るか、できなければ作曲は出来ないし演奏も出来ません。英語で言えば 正しく書けません、正しく話せません。職場で使われる頻度の高い会話文を例にとり学習します。 毎回の授業が大切です。欠席のないように。</p>				
かだい 小テスト、課題 (レポート等)	<p>Forms 理解度テストを各学期2回 及び 適宜 (クラスルーム) で課題を出します。 毎月末 英語ノートを提出 → 理解度評価に加味、学習成果の評価とします。</p>				
ていき 定期テスト	<p>【受験資格】 出席率70%以上の学生 【試験方法】 筆記試験 (過去の理解度テスト及び講義の重点項目から出題する)</p>				
せいせきひょうか 成績評価 の ほうほう 方法・基準	<p>本校の成績評価基準に基づき、到達目標達成度を次の方法で評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平常点 (出欠、授業態度や演習への取組み) 10% ・理解度テスト+英語ノート努力評価 40% ・定期テスト 50% 				
オフィス アワー	<p>授業日放課後に対応可能。ただし、メールで事前に予約し承認を受けること。</p>				
きょうざい 教材	<p>こうしきくせいれい じゅめ 講師作成レジュメ</p> <p>えいけんじゅん2きゅうごうかく 英検準2級合格STEP (eigo-duke.com)</p>				
さんこうしょ 参考書					

科目名	情報英語基礎Ⅱa	担当教員	加藤
授 業 計 画			
回数	授業内容	ALの形態	授業の狙い
1週目	<p>「情報基礎英語Ⅱを学ぶ意義」を確認して今学期の習得目標を理解します。英語の文章構成に注目しながら「職場での自己紹介」を学習します。“Simple” is the best. – Keep it short & keep it simple.</p>	<p>講義・双方向 質疑応答形式</p>	<p>職場では常に時間に制限があることを肝に命じ、必要なことを見極めて自己紹介すること。</p>
2週目	<p>先週に引き続き、確実に言えなくてはいけない自己紹介例文から学習します。一(2)構文理解も併行して授業を進めます。 ビジネスシーンでよく耳にする phrase を取り上げ その文章構成を学習、応用活用してみます。</p>	<p>講義・双方向 質疑応答形式</p>	<p>及び、英語基礎構文5文型を習得する。 ビジネスシーンでの頻度の高いフレーズを習得し何度も発音しながら英語基礎構文の理解を深める。</p>
3週目	<p>英語基本5文型 1. SV 2. SVC 3. SVO 4. SV00 5. SVOC の基礎理解。—その1)</p>	<p>講義・双方向 質疑応答形式</p>	
4週目	<p>英語基本5文型 1. SV 2. SVC 3. SVO 4. SV00 5. SVOC の基礎理解。 —その2) Forms 理解度テスト (15分)</p>	<p>講義・双方向 質疑応答形式</p>	
5週目	<p>職場でよく使われるフレーズを学習し基礎構文「時制」に焦点を絞りその理解を深める。後半は欧米のビジネス作法を学習します。“ニタニタ笑い”とスマイルは違う！ *英語ノート提出及び評価</p>	<p>講義・双方向 質疑応答形式</p>	
6週目	<p>「時制」現在形、過去形、現在進行形の意味の違いを理解して動詞活用変化と構文の違いを学習、併せて各自、繰り返し声に出して発音練習をする。Forms 2回目理解度テスト (15分)</p>	<p>講義・双方向 質疑応答形式</p>	
7週目	<p>今学期学習した英語表現の総復習 ⇒ 定期試験対策</p>	<p>講義・双方向 質疑応答形式</p>	
8週目	<p>定期テスト (35分)</p>		<p>1学期授業内容の記述力 評価</p>
9週目	<p>定期試験の解説 *英語ノート提出及び評価</p>	<p>講義・双方向 質疑応答形式</p>	<p>1期授業の重点項目を 徹底把握</p>

れいわ ねんど 令和 5 年度シラバス			たんとうきょういん 担当教員	じつむけいけん 実務経験			
たいしょうがつか 対象学科	■IG ■AI ■RI □GB □IL			加藤 巧		○	
かまくめい 科目名	じょうほうえいごきそ 情報英語基礎Ⅱb						
ねんじ 年次	ねん 2年	かいこうき 開講期	だい き 第2期	区分	ひっしゅう せんたく ヒツセン □必修■選択□必選	じゅぎょうじすう 授業時数	じかん 18時間
じゅぎょう 授業 とうたつもくひょう 到達目標	<p>【最終期授業の到達目標】 職場において国籍・文化も異なる多種多様な人材と協働しながら英語で効果的に業務を遂行できる、より実践的なコミュニケーション能力の獲得を目指します。</p> <p>【当期授業の到達目標】 英語の文章構成を復習しながら、職場でよく使われるより実践的な英語フレーズを習得する及び英語面接時の重要語句を理解する。</p>						
じゅぎょうがいよう 授業概要	<p>基礎構文を何度も何度も復習しながら、基本5文型 (1. S+V 2. S+V+C 3. S+V+O 4. S+V+O+O 5. S+V+O+C) 及びビジネス英語の実用的なフレーズを文法と発音に注意しながら学習します。</p>						
じゅぎょう 授業の うんえいほうほう 運営方法	<p>パワーポイント講義 及び 質疑応答形式。 適宜インターネット配信されている教材を視聴し実際に声に出して発音矯正しながら授業を進める。 Forms理解度テスト2回及び適宜Classroomへ講義内容を配信し、各自英語ノートでそれを整理し復習・予習を習慣づける。 *全体の習熟度を確認し先に進めていきます。</p>						
たんとうきょういん 担当教員 からの メッセージ	<p>今期は英語特有の構文理解の復習と併行してネイティブがよく使う職場での英語フレーズを例にとり学習します。 毎回の授業が大切です。欠席のないように。</p>						
かだい 小テスト、課題 (レポート等)	<p>Forms による理解度テストを各学期2回 及び 適宜 (クラスルーム) で課題を出します。 毎月末 英語ノートを提出 → 理解度評価に加味、学習成果の評価とします。</p>						
ていき 定期テスト	<p>【受験資格】出席率70%以上の学生 【試験方法】筆記試験 (過去の理解度テスト及び講義の重点項目から出題する)</p>						
せいせきひょうか 成績評価 の ほうほう きじゆん 方法・基準	<p>本校の成績評価基準に基づき、到達目標達成度を次の方法で評価する。 ・平常点 (出欠、授業態度や演習への取り組み) 10% ・理解度テスト+英語ノート努力評価 40% ・定期テスト 50%</p>						
オフィス アワー	<p>授業日放課後に対応可能。ただし、メールで事前に予約し承認を受けること。</p>						
きょう ざい 教 材	<p>講師作成レジメ 英検準 2級合格STEP (eigo-duke.com)</p>						
さんこうしょ 参考書							

かちめい 科目名	じょうほうえいごきそ 情報英語基礎Ⅱb	たんどうきょういん 担当教員	加藤
じゅ ぎょう けい が 授 業 計 画			
かいすう 回数	じゅぎょうないよう 授業内容	けいたい AL の形態	じゅぎょう ねら 授業の狙い
しゅうめ 1週目	こんがつき ねいていぶ つかう えいご ちゃくもく 今学期は、「ネイティブがよく使うビジネス英語フレーズに着目 <small>ひょうげん がくしゅう かくにん ひょうげん しょう さい</small> し表現を学習する。」ことを確認。表現や使用する際の <small>にゅあんす ちゅうい ます かくじ こえ だして み</small> ニュアンスなどに注意し、先ずは各自、声に出してしっかり身につ <small>もくひょう</small> けていくことが目標です。 <small>こうぶんりかい</small> 構文理解も不可欠なことはいうまでもありません。	こうぎ そうほうこう 講義・双方向 しつぎおうとうけいしき 質疑応答形式	ねいていぶ つかうきそてき ネイティブがよく使う基礎的 <small>えいごふれーず ちゃくもく</small> な英語フレーズに着目し <small>ひょうげん がくしゅう ひょうげん</small> 表現を学習する。表現 <small>しょう さい にゅあんす</small> や使用する際のニュアンスな <small>ちゅうい</small>
しゅうめ 2週目	どうし かつようへんか ちゃくもく かくじせい ぶんしょう ひょうきで きる 動詞の活用変化に着目、各時制の文章を正しく表記出来るよう <small>がくしゅう くわえ けいようし ふくし がくしゅう ちようぶん なる Image</small> 学習していく。加え、形容詞・副詞を学習し長文に慣れる Image <small>training</small> trainingをする。	講義・双方向 質疑応答形式	<small>えいごふれーず ちゃくもく</small> な英語フレーズに着目し <small>ひょうげん がくしゅう ひょうげん</small> 表現を学習する。表現 <small>しょう さい にゅあんす</small> や使用する際のニュアンスな <small>ちゅうい</small>
しゅうめ 3週目	<small>てんけいてき どうし</small> ビジネスシーンで用いられる典型的な動詞に <small>しょうてん じせい おきかえ てきほんぶんぼう がくしゅう</small> 焦点をあて、時制を置き換えて基本文法を学習する。 <small>あわせて はつおんきようせい こえ だして だしく はなせる じゅぎょう すずめる</small> 併せて、発音矯正 声を出して正しく話せるよう授業を進める。 <small>えいごの ー と ていしゆつおびひょうか</small> *英語ノート提出及び評価 *Forms 理解度テスト15分	講義・双方向 質疑応答形式	<small>かくじつ</small> どに注意して理解を確実にす <small>けいようし ふくし くべつ</small> る。形容詞・副詞の区別を明 <small>えいごこうぶん</small> 確にし、英語構文を 考えてみる。 <small>かくじつ ぶんけい しゅうとく</small> 確実に5文型を習得する。
しゅうめ 4週目	<small>がいしきぎょう めんせつ つかわれる ふれーず がくしゅう かつようへんか へいよう</small> 外資企業の面接でよく使われるフレーズを学習、活用変化も併用し <small>こく りかい ふかめる どうが みな がら えいご かいしやめんせつじ</small> その語句の理解を深める。動画を見ながら英語の会社面接時に <small>つかわれる Point えいご がくしゅう</small> 使われるPointとなる英語を学習する *英語ノート <small>ていしゆつおびひょうか</small> 提出及び評価	講義・双方向 質疑応答形式	
しゅうめ 5週目	<small>えいごめんせつじ じぶんじしん ひょうげん key words かんがえる</small> 英語面接時における自分自身を表現するkey wordsを考える。 <small>あわせて ぶんぼう はつおんきようせい へいこう がくしゅう</small> 併せて、文法、発音矯正を併行して学習する。—その1)	講義・双方向 質疑応答形式	
しゅうめ 6週目	<small>えいごめんせつじ じぶんじしん ひょうげん key words かんがえる</small> 英語面接時における自分自身を表現するkey wordsを考える。 <small>あわせて ぶんぼう はつおんきようせい へいこう がくしゅう</small> 併せて、文法、発音矯正を併行して学習する。—その2) Forms理解度テスト(10分)実施	講義・双方向 質疑応答形式	<small>がいしきぎょう えいごめんせつじ</small> 外資企業における英語面接時 <small>じゅうようこく りかい</small> の重要語句を理解する
しゅうめ 7週目	<small>こんきがくしゅう えいご およびけいようし ふくし そうふくしゅう</small> 今期学習した英語フレーズ及び形容詞・副詞の総復習 <small>ていきしけんたいさく</small> ⇒ 定期試験対策	講義・双方向 質疑応答形式	
しゅうめ 8週目	<small>ていき</small> 定期テスト(35分)		<small>がつきじゅぎょうないよう きじゅつりよく</small> 2学期授業内容の記述力 <small>ひょうか</small> 評価
しゅうめ 9週目	<small>ていきしけん かいせつ</small> 定期試験の解説 *英語ノート提出及び評価	<small>こうぎ そうほうこう</small> 講義・双方向 しつぎおうとうけいしき 質疑応答形式	<small>じゅぎょう じゅうてんこうもく</small> 授業の重点項目を てっていはあく 徹底把握

れいわ ねんど
令和 5 年度シラバス

たんとうきょういん
担当教員

じつむけいけん
実務経験

たいしょうがつか 対象学科	■IG ■AI ■RI □GB □IL			加藤 巧	○
かまくめい 科目名	じょうほうえいごきそ 情報英語基礎Ⅱc				
ねんじ 年次	ねん 2年	かいこうき 開講期	だい き 第3期	区分	ひしゅう せんたく ヒツセン □必修■選択□必選
					じゅぎょうじすう 授業時数
					じかん 18時間
じゅぎょう 授業 とうたつもくひょう 到達目標	<p>【最終期授業の到達目標】 職場において国籍・文化も異なる多種多様な人材と協働しながら英語で効果的に業務を遂行できる、より実践的なコミュニケーション能力の獲得を目指します。</p> <p>【当期授業の到達目標】 英語の文章構成を復習しながら 職場での「英語電話対応」において使える より実践的な</p> <p>1. 英語フレーズ 2. 話し方 3. 重要ポイント を習得します。</p> <p>併行して、不規則動詞を4パターンに分類し、語形変化を各文章を通して学習。及びビジネスシーンにおける電話対応の基礎知識、実際によく使われる英語表現を学習します。</p>				
じゅぎょうがいよう 授業概要	<p>職場での電話でよくあるシーン 1. フォローアップをしたい時 2. リクエストしたい時 3. ミーティングを設定したい時 (新しい商品や企画の紹介) などのビジネス電話英語例文を学習します。</p>				
じゅぎょう 授業の うんえいほうほう 運営方法	<p>パワーポイント講義 及び 質疑応答形式。 適宜インターネット配信されている教材を視聴し実際に声に出して発音矯正しながら授業を進める。 Forms理解度テスト2回及び適宜Classroomへ講義内容を配信し、各自英語ノートでそれを整理し復習・予習を習慣づける。 ※全体の習熟度を確認し先に進めていきます。</p>				
たんとうきょういん 担当教員 からの メッセージ	<p>英語でのビジネス会話は相手に敬意を払いつつ話すのも大切ですが、それに気を取られてしまい フレンドリーな会話が出来なくなってしまっははいけません。まずはフレンドリーな会話を心得て電話対応の方がより自然な英語対応になります。色々な職場での場面を例に取り勉強していきますから 毎回の授業が大切です。欠席のないように。</p>				
かだい 小テスト、課題 (レポート等)	<p>Forms による理解度テストを各学期2回 及び 適宜 (クラスルーム) で課題を出します。毎月末 英語ノートを提出 → 理解度評価に加味、学習成果の評価とします。</p>				
ていき 定期テスト	<p>【受験資格】出席率70%以上の学生 【試験方法】筆記試験 (過去の理解度テスト及び講義の重点項目から出題する)</p>				
せいせきひょうか 成績評価 の ほうほう きじゆん 方法・基準	<p>本校の成績評価基準に基づき、到達目標達成度を次の方法で評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平常点 (出欠、授業態度や演習への取組み) 10% 理解度テスト+英語ノート努力評価 40% 定期テスト 50% 				
オフィス アワー	<p>授業日放課後に対応可能。ただし、メールで事前に予約し承認を受けること。</p>				
きょう ざい 教材	<p>講師作成レジュメ 英検準2級合格STEP (eigo-duke.com)</p>				
さんこうしょ 参考書					

科目名	情報英語基礎Ⅱc	担当教員	加藤
授 業 計 画			
回数	授業内容	ALの形態	授業の狙い
1週目	<p>今学期は、職場での英語電話対応において使える 1. 英語フレーズ</p> <p>2. 話し方 3. 重要ポイントの実用編を習得するのが目標であることを確認します。併せて、不規則動詞の語形変化4パターンを繰り返し発音しながら活用変化を学習する</p>	<p>講義・双方向 質疑応答形式</p>	<p>英語の文章構成の基礎を学習しながらビジネスシーンの「英語電話」対応において使える</p>
2週目	<p>職場での英語電話対応において使える 1. 英語フレーズ 2. 話し方</p> <p>3. 重要ポイントの実用編を学習— (1)</p> <p>構文理解も併行して授業を進めます。</p>	<p>講義・双方向 質疑応答形式</p>	<p>使える</p> <p>1. 英語フレーズ 2. 話し方 3. 重要ポイントの基礎編を習得。</p> <p>併せて、不規則動詞の</p>
3週目	<p>職場での英語電話対応において使える 1. 英語フレーズ 2. 話し方</p> <p>3. 重要ポイントの実用編を学習— (2)</p> <p>一般動詞の活用変化と動詞句について学習します。</p> <p>Forms理解度テスト (10分) 実施</p>	<p>講義・双方向 質疑応答形式</p>	<p>語形変化4パターンを徹底把握</p>
4週目	<p>不規則動詞を4パターンに分類し、語形変化を各文章を通して学習。及びビジネスシーンにおける電話対応の基礎知識、実際によく使われる英語表現を学習します。 *英語ノート提出及び評価</p>	<p>講義・双方向 質疑応答形式</p>	<p>文法的に大事な規則動詞と不規則動詞について理解する。</p>
5週目	<p>不規則動詞4パターンの語形変化を各文章を通して学習。</p>	<p>講義・双方向 質疑応答形式</p>	
6週目	<p>助動詞will/would, can/could, may/might, shall/shouldの意味の違いを学習します。</p>	<p>講義・双方向 質疑応答形式</p>	<p>助動詞の用法を理解。</p>
7週目	<p>今期学習した英語電話対応及びその他重点項目の総復習 ⇒ 定期試験対策</p>	<p>講義・双方向 質疑応答形式</p>	
8週目	<p>定期テスト (35分)</p>		<p>3学期授業内容の記述力 評価</p>
9週目	<p>定期試験の解説 *英語ノート提出及び評価</p>	<p>講義・双方向 質疑応答形式</p>	<p>3学期授業の重点項目を徹底把握</p>

れいわ ねんど
令和 5 年度シラバス

たんとうきょういん
担当教員

じつむけいけん
実務経験

たいしょうがつか 対象学科	■IG ■AI ■RI □GB □IL			加藤 巧	○
かまくめい 科目名	じょうほうえいごきそ 情報英語基礎Ⅱd				
ねんじ 年次	ねん 2年	かいこうき 開講期	だい き 第4期	区分	ひつしゅう せんたく ヒツセン □必修 ■選択 □必選
					じゅぎょうじすう 授業時数
					じかん 18時間
じゅぎょう 授業 到達目標	<p>【最終期授業の到達目標】 職場において国籍・文化も異なる多種多様な人材と協働しながら英語で効果的に業務を遂行できる、より実践的なコミュニケーション能力の獲得を目指します。</p> <p>【当期授業の到達目標】 英語の文章構成を復習しながら、毎日使うであろう、また毎日見るであろう「英文メール」を厳選しその基礎を習得し、より自然で、実用的でもあり、相手にリスペクトしてもらえる英語とはどんな英語か理解することを目標とします。併行して、不規則動詞の語形変化、助動詞の用法等 文法を復習しながら英文メールの特徴を理解します。</p>				
じゅぎょうがいよう 授業概要	<p>アメリカ英語と英国英語の違いに言及しながら、英語文化圏の共通点—フレンドリーなコミュニケーションを交わしながら、いかにして対等な立場を築くかに注意が払われていることを理解し、ビジネスメールにおける様式（書き出しと締め）の注意点を学習します。</p>				
じゅぎょう 授業の 運営方法	<p>パワーポイント講義 及び 質疑応答形式。 適宜インターネット配信されている教材を視聴し実際に声に出して発音矯正しながら授業を進める。 Forms理解度テスト2回及び適宜Classroomへ講義内容を配信し、各自英語ノートでそれを整理し復習・予習を習慣づける。 ※全体の習熟度を確認し先に進めていきます。</p>				
たんとうきょういん 担当教員 からの メッセージ	<p>仕事で使う英語とは言っても、かしこまり過ぎてはいけません。 より自然で、実用的で、相手にリスペクトしてもらえる英語とはどんな表現かを学びます。毎回の授業が大切です。欠席のないように。</p>				
かだい 小テスト、課題 (レポート等)	<p>Formsによる理解度テストを各学期2回 及び 適宜（クラスルーム）で課題を出します。毎月末 英語ノートを提出 → 理解度評価に加味、学習成果の評価とします。</p>				
ていき 定期テスト	<p>【受験資格】出席率70%以上の学生 【試験方法】筆記試験（過去の理解度テスト及び講義の重点項目から出題する）</p>				
せいせきひょうか 成績評価 の ほうほう きじゆん 方法・基準	<p>本校の成績評価基準に基づき、到達目標達成度を次の方法で評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平常点（出欠、授業態度や演習への取組み）10% 理解度テスト+英語ノート努力評価 40% 定期テスト 50% 				
オフィス アワー	<p>授業日放課後に対応可能。ただし、メールで事前に予約し承認を受けること。</p>				
きょう ざい 教材	<p>講師作成レジュメ 英検準2級合格STEP (eigo-duke.com)</p>				
さんこうしょ 参考書					

かもくめい 科目名	じょうほうえいごきそ 情報英語基礎Ⅱd	たんとくきょういん 担当教員	加藤
じゅ ぎょう けい が 授 業 計 画			
かいすう 回数	じゅぎょうないよう 授業内容	けいたい ALの形態	じゅぎょう ねら 授業の狙い
しゅうめ 1週目	こんがつき びじねすめーる ようしき がくしゅう まいにちつかう えいぶん 今学期は、ビジネスメールの様式を学習し、毎日使うような英文 かける もくひょう あわせてき そこうぶんりかい は書けるようになることを目標とします。併せて基礎構文理解も えいぶん 復習。英文ビジネス しぜん かきだし ぶんれいおよび てきしたぶんれい Eメール 自然な書き出しopening文例及びclosingに適した文例 がくしゅう を学習します。	こうぎ そうほうこう 講義・双方向 しつぎおうとうけいしき 質疑応答形式	つかうえいご 1. ビジネスで使う英語だけ いって らと言って、 かしこまりすぎて しぜん じつようてき ん。 より自然で、実用的 あいて りすべくと で、相手にリスペクトしても びじねすえいご らえるビジネス英語とはどん えいご な英語かを理解する。
しゅうめ 2週目	ていばんひょうげん がくしゅう かくじつ えいご ビジネスメールの定番表現を学習、確実に知っておきたい英語 ひょうげん えいかいわしゅうとく ゆうこう ー こうぶんりかい 表現であり英会話習得にも有効です。— (1) 構文理解も不可欠 えいぶん どうしおよびく なことはいうまでもありません。英文メールにおける動詞及び句 どうし しよきゅうく いずけいしき がくしゅう 動詞を初級クイズ形式で学習。	講義・双方向 質疑応答形式	2. 英文メールの定番 ていばん ひょうげん がくしゅう かくじつ 表現を学習、確実にしつ ひょうげん ておきたい表現を理解す る。 しごとじょう えいぶん 3. 工作上的英文Eメールの れい いいまわし サンプルを例にその言い回し とくちょう りかい の特徴を理解する。
しゅうめ 3週目	ていばんひょうげん がくしゅう かくじつ えいご ビジネスメールの定番表現を学習、確実に知っておきたい英語 ひょうげん ひきつづきがくしゅう こうぶんりかい 表現を引き続き学習。— (2) 構文理解も不可欠なことはいうま でもありません Formsりかいどてすと 10ふん じっし Forms理解度テスト(10分)実施	講義・双方向 質疑応答形式	2. 英文メールの定番 ていばん ひょうげん がくしゅう かくじつ 表現を学習、確実にしつ ひょうげん ておきたい表現を理解す る。 しごとじょう えいぶん 3. 工作上的英文Eメールの れい いいまわし サンプルを例にその言い回し とくちょう りかい の特徴を理解する。
しゅうめ 4週目	しごとじょう えいぶん れい いいまわし とくちょう 工作上的英文Eメールのサンプルを例にその言い回しの特徴を がくしゅう 学習する。 *英語ノート提出及び評価	講義・双方向 質疑応答形式	しごとじょう えいぶん れい いいまわし 工作上的英文Eメールの とくちょう りかい サンプルを例にその言い回し の特徴を理解する。
しゅうめ 5週目	しぜん じつようてき あいて りすべくと えいご より自然で、実用的で、相手にリスペクトしてもらえる英語メール とは —その1	講義・双方向 質疑応答形式	
しゅうめ 6週目	しぜん じつようてき あいて りすべくと えいご より自然で、実用的で、相手にリスペクトしてもらえる英語メール とは Formsりかいどてすと 10ふん じっし Forms理解度テスト(10分)実施 —その2	講義・双方向 質疑応答形式	
しゅうめ 7週目	こんきがくしゅう しごとじょう えいぶんめ そうふくしゅう 今期学習した工作上的の英文メールの総復習 ていきしけんたいさく ⇒ 定期試験対策	講義・双方向 質疑応答形式	
しゅうめ 8週目	ていき 定期テスト		がつきじゅぎょうないよう きじゅつりよく 4学期授業内容の記述力 ひょうか 評価
しゅうめ 9週目	ていきしけん かいせつ 定期試験の解説 *英語ノート提出及び評価	こうぎ そうほうこう 講義・双方向 しつぎおうとうけいしき 質疑応答形式	じゅぎょう じゅうてんこうもく 4学期授業の重点項目を てっていはあく 徹底把握